

## Ⅱ 市民健康づくり生活習慣調査

### □ 回収状況

		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	合 計
男 性	配布数	200	400	400	400	400	400	400	2,600
	有効回収数	95	133	152	172	214	276	302	1,344
	有効回収率	47.5	33.3	38.0	43.0	53.5	69.0	75.5	51.7
女 性	配布数	200	400	400	400	400	400	400	2,600
	有効回収数	114	171	243	255	269	308	282	1,642
	有効回収率	57.0	42.8	60.8	63.8	67.3	77.0	70.5	63.2
合 計	配布数	400	800	800	800	800	800	800	5,200
	有効回収数	209	304	395	427	483	584	584	2,986
	有効回収率	52.3	38.0	49.4	53.4	60.4	73.0	73.0	57.4

市民健康づくり生活習慣調査は、10歳代から70歳代の男女5200名を対象に実施した。

各年代ごとの調査票の配布数は、20歳代から70歳代の各年代の男女各400部、10歳代は、15歳以上を調査対象にしたため、男女ともに半数の200部を配布した。

有効回収率について、性別でみると、女性が63.2%と6割を超え、男性（51.7%）を11.5%上回っている。また、年代別でみると、60歳代および70歳代がともに73.0%と7割を超え高くなっている。

□ 市民健康づくり生活習慣調査の回答者数（加重係数に乗じた回収数）

市民健康づくり生活習慣調査の回答者数は、各性年齢区分の人口構成の差を調整するため、男性70歳以上の母集団に占める回収数（＝回収数/母集団）を基準とした加重係数に乗じて算出した。

また、回答数は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が全体の合計と合わない場合がある。

		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	有効回収数(A)	95	133	152	172	214	276	302	1,344
	加重係数(B)	1.425	2.294	2.752	2.167	1.482	1.322	1.000	-
	加重後回収数(A)×(B)	135	305	418	373	317	365	302	2,216
女性	有効回収数(A)	114	171	243	255	269	308	282	1,642
	加重係数(B)	1.131	1.793	1.737	1.466	1.21	1.268	1.593	-
	加重後回収数(A)×(B)	129	307	422	374	325	391	449	2,397
合計	有効回収数(A)	209	304	395	427	483	584	584	2,986
	加重後回収数(A)×(B)	264	612	840	747	643	755	751	4,612

【加重係数について】

$$\text{男性10歳代の係数} \dots \frac{\text{男性70歳以上の回収数 (302)}}{\text{男性70歳以上の母集団数 (64,953)}} \times \frac{\text{男性10歳代の母集団数 (29,117)}}{\text{男性10歳代の回収数 (95)}} = 1.425$$

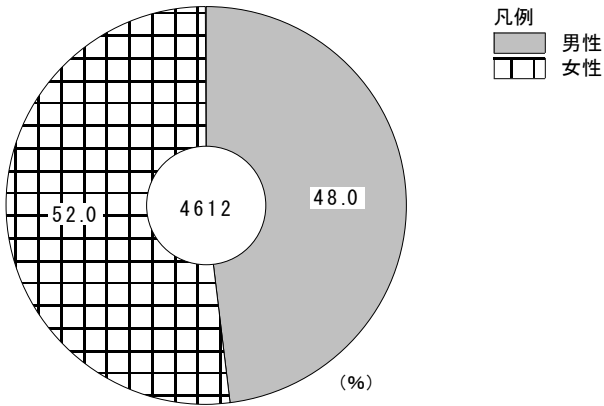
$$\text{女性10歳代の係数} \dots \frac{\text{男性70歳以上の回収数 (302)}}{\text{男性70歳以上の母集団数 (64,953)}} \times \frac{\text{女性10歳代の母集団数 (27,737)}}{\text{女性10歳代の回収数 (114)}} = 1.131$$

⋮  
 ⋮  
 男性70歳以上・・・ 1.00

# 1 回答者の属性

## (1) 性別

【図 2-1-1 性別】

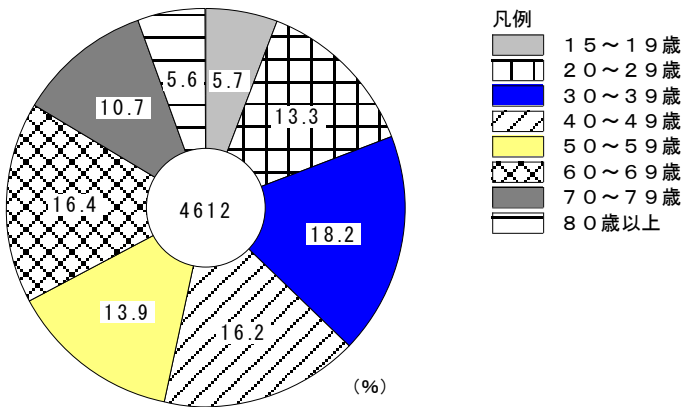


【表 2-1-1 性別】

	(人)	(%)
男性	2,216	48.0
女性	2,397	52.0
合計	4,612	100.0

## (2) 年齢

【図 2-1-2 年齢】

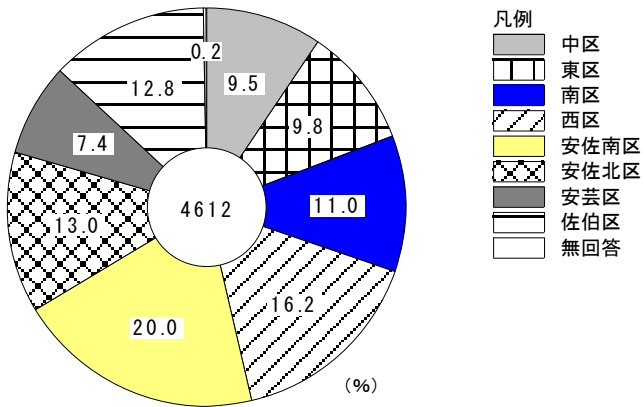


【表 2-1-2 年齢】

	(人)	(%)
15~19歳	264	5.7
20~29歳	612	13.3
30~39歳	840	18.2
40~49歳	747	16.2
50~59歳	643	13.9
60~69歳	755	16.4
70~79歳	495	10.7
80歳以上	257	5.6
合計	4,612	100.0

(3) 居住地区

【図 2-1-3 居住地区】

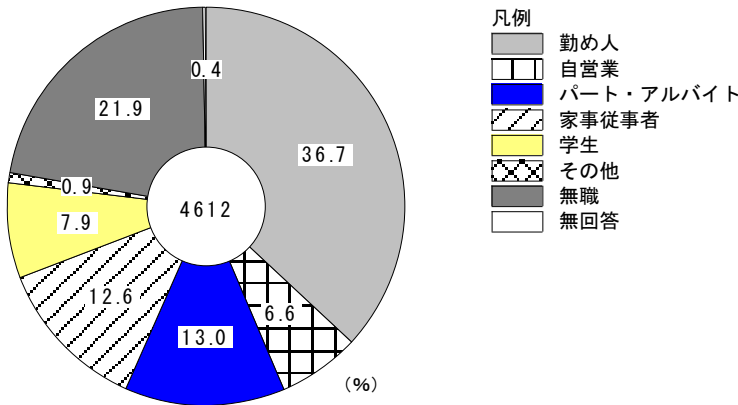


【表 2-1-3 居住地区】

	(人)	(%)
中区	438	9.5
東区	454	9.8
南区	508	11.0
西区	747	16.2
安佐南区	922	20.0
安佐北区	601	13.0
安芸区	341	7.4
佐伯区	589	12.8
無回答	11	0.2
合計	4,612	100.0

(4) 就業形態

【図 2-1-4 就業形態】

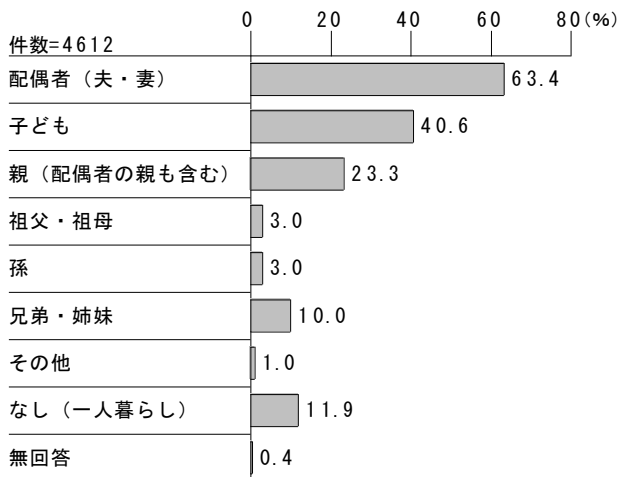


【表 2-1-4 就業形態】

	(人)	(%)
勤め人	1,692	36.7
自営業	304	6.6
パート・アルバイト	599	13.0
家事従事者	583	12.6
学生	364	7.9
その他	40	0.9
無職	1,010	21.9
無回答	20	0.4
合計	4,612	100.0

(5) 同居家族

【図 2-1-5 同居家族】



【表 2-1-5 同居家族】

	(人)	(%)
配偶者(夫・妻)	2,923	63.4
子ども	1,872	40.6
親(配偶者の親も含む)	1,074	23.3
祖父・祖母	137	3.0
孫	139	3.0
兄弟・姉妹	463	10.0
その他	48	1.0
なし(一人暮らし)	551	11.9
無回答	20	0.4
合計	4,612	100.0

(6) - 1 身長

【表 2-1-6 身長】

(c m)

	合計平均	男性平均	女性平均
合計	161.9	168.9	155.3
10歳代	163.6	170.1	156.6
20歳代	163.6	170.4	157.0
30歳代	164.5	171.0	158.1
40歳代	164.0	170.8	157.4
50歳代	162.8	169.7	156.0
60歳代	160.0	166.5	153.8
70歳以上	155.6	163.4	150.1

(6) - 2 体重

【表 2-1-7 体重】

(k g)

	合計平均	男性平均	女性平均
合計	58.3	65.4	51.7
10歳代	55.2	60.4	49.6
20歳代	57.5	64.4	50.5
30歳代	59.5	67.9	51.3
40歳代	61.1	68.5	53.8
50歳代	60.4	67.9	53.0
60歳代	57.9	63.9	52.4
70歳以上	54.4	60.7	50.0

(6) - 3 BMI

【表 2-1-8 BMI】

	合計平均	男性平均	女性平均
合計	22.0	22.8	21.3
10歳代	20.5	20.8	20.1
20歳代	21.1	21.9	20.2
30歳代	21.7	23.1	20.4
40歳代	22.5	23.4	21.6
50歳代	22.6	23.5	21.7
60歳代	22.4	22.8	22.0
70歳以上	22.3	22.5	22.1

(6) - 4 BMI (3区分)

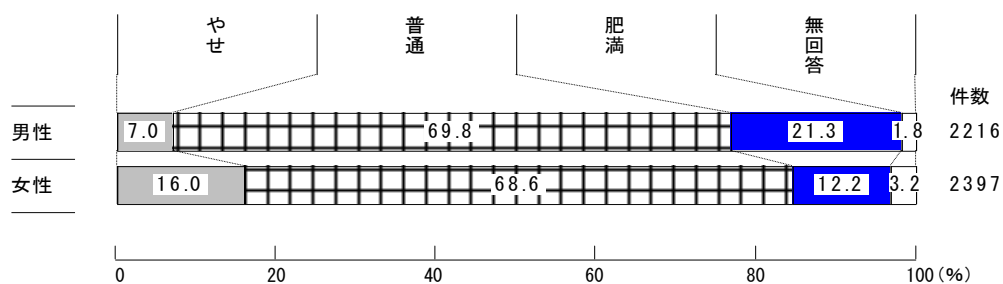
【表 2-1-9 目標値の達成状況】

指標	平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
20 歳代女性のやせの人 (BMI <18.5)	22.6%	14.5%	25.1%

【表 2-1-10 目標値の達成状況】

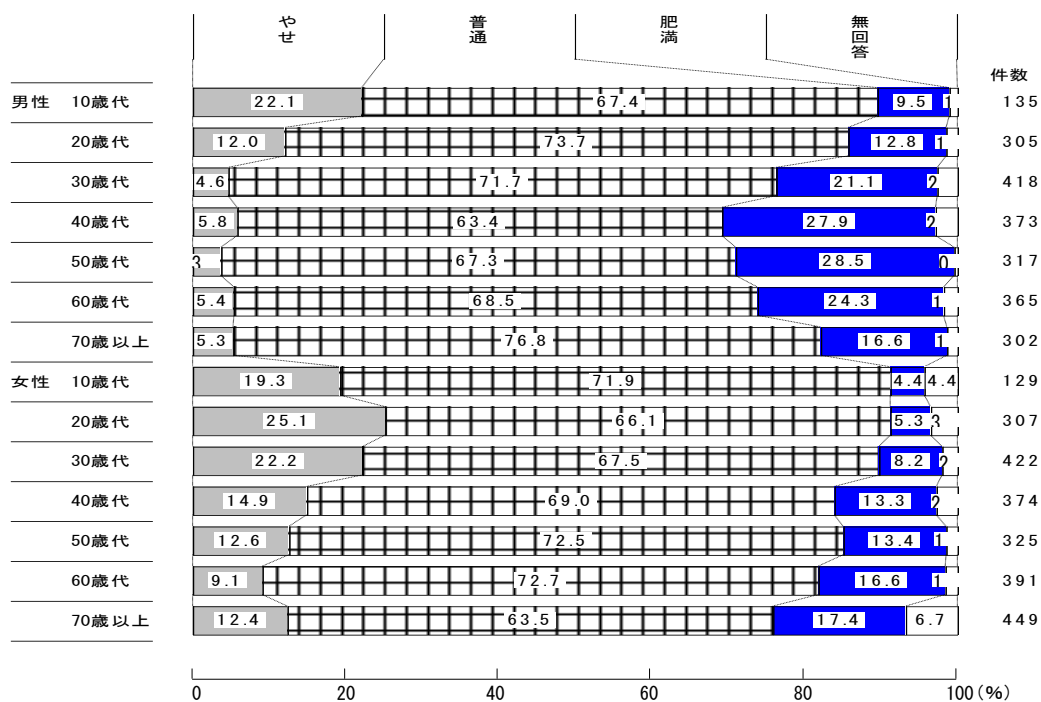
指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
成人肥満者 (BMI ≥25.0)	20~60 歳代男性	25.3%	18.5%	23.1%
	40~60 歳代女性	25.9%	12.8%	14.5%

【図 2-1-6 肥満度 (性別)】



肥満度について、性別にみると、「肥満」の割合は男性が 21.3%、女性が 12.2%であり、男性が女性を 9.1 ポイント上回っている。

【図 2-1-7 肥満度 (性・年齢別)】

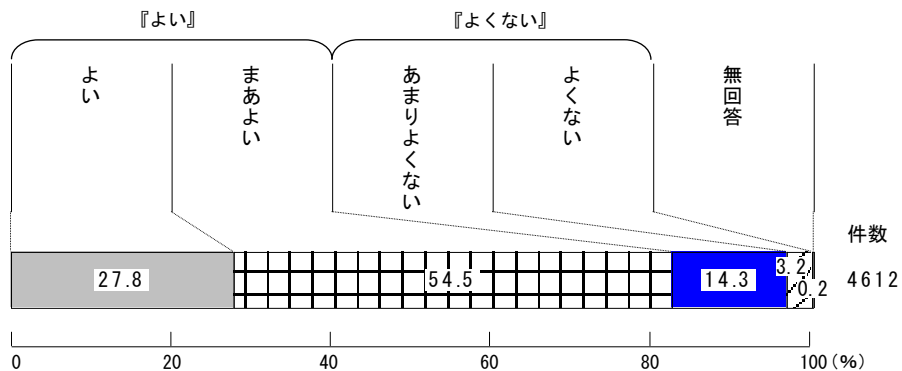


肥満度について、性・年齢別にみると、「やせ」の割合が男性 10 歳代、女性 20 歳代、30 歳代で 2 割を超え、「肥満」の割合は男性 30~60 歳代で 2 割を超え、他の性・年齢に比べて高くなっている。

## 2 健康状態について

問7. 現在の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

【図 2-2-1 健康状態】

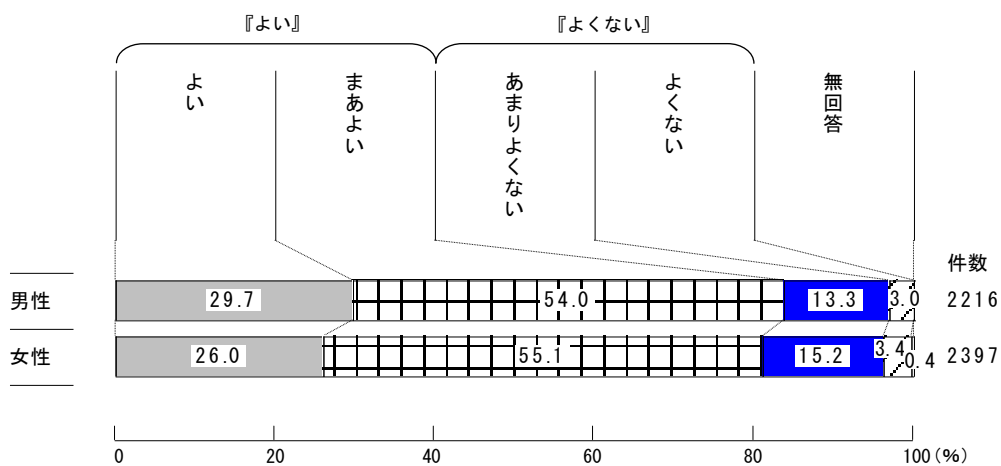


現在の健康状態について、『よい』（「よい」と「まあよい」を合わせた割合）との回答が82.3%と8割を超え高く、『よくない』（「よくない」と「あまりよくない」を合わせた割合）との回答は17.5%となっている。

【表 2-2-1 目標値の達成状況】

指標	平成12年度	平成18年度	平成23年度
健康状態が良好と感じている人	80.3%	79.1%	82.3%

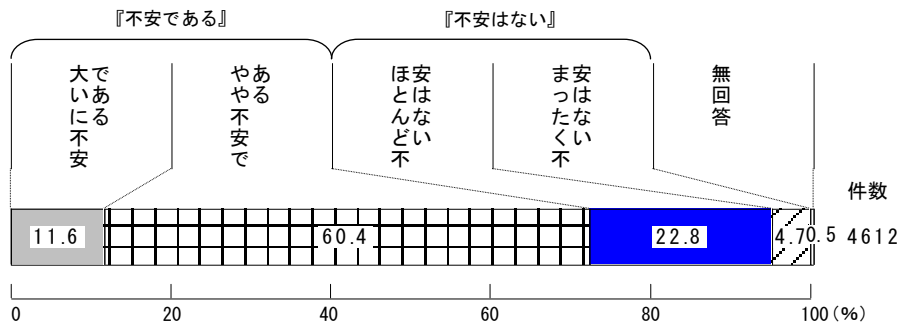
【図 2-2-2 健康状態（性別）】



現在の健康状態について、性別にみると、男女ともに『よい』との回答が8割を超えている。

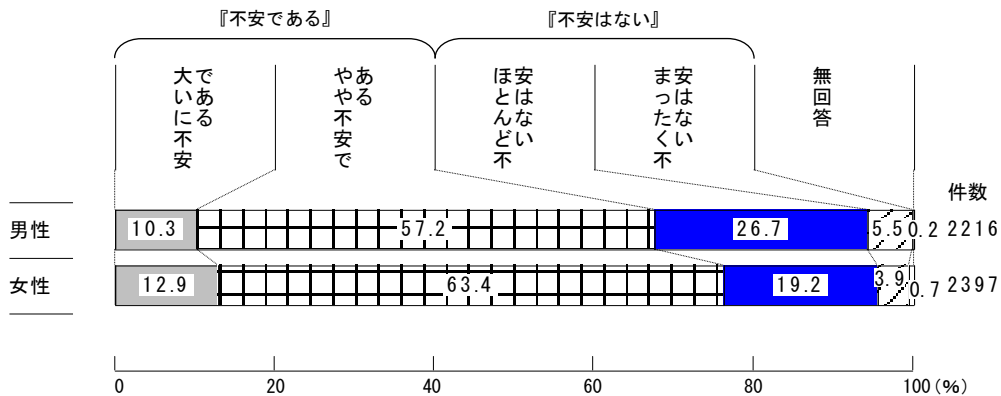
問8. 健康状態について、将来、不安に思うことはありますか。(○は1つ)

【図 2-2-3 健康状態について、将来、不安に思うこと】



健康状態について、将来、不安に思うことについて、『不安である』（「大いに不安である」と「やや不安である」を合わせた割合）との回答が72.0%と7割を超えている。また、『不安はない』（「まったく不安はない」と「ほとんど不安はない」を合わせた割合）との回答は27.5%となっている。

【図 2-2-4 健康状態について、将来、不安に思うこと（性別）】



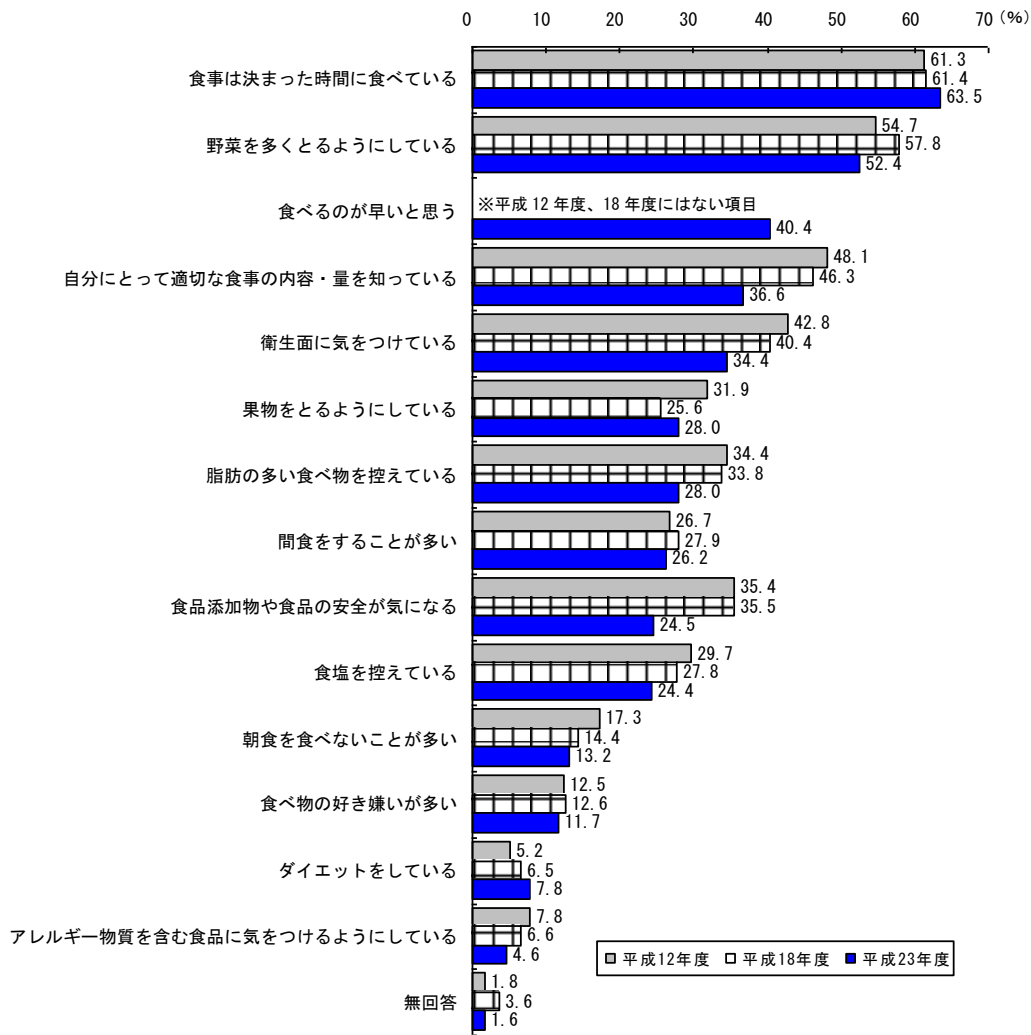
健康状態について、将来、不安に思うことについて、性別にみると、『不安である』との回答では女性（76.3%）が男性（67.5%）を8.8ポイント上回っている。



### 3 栄養・食生活について

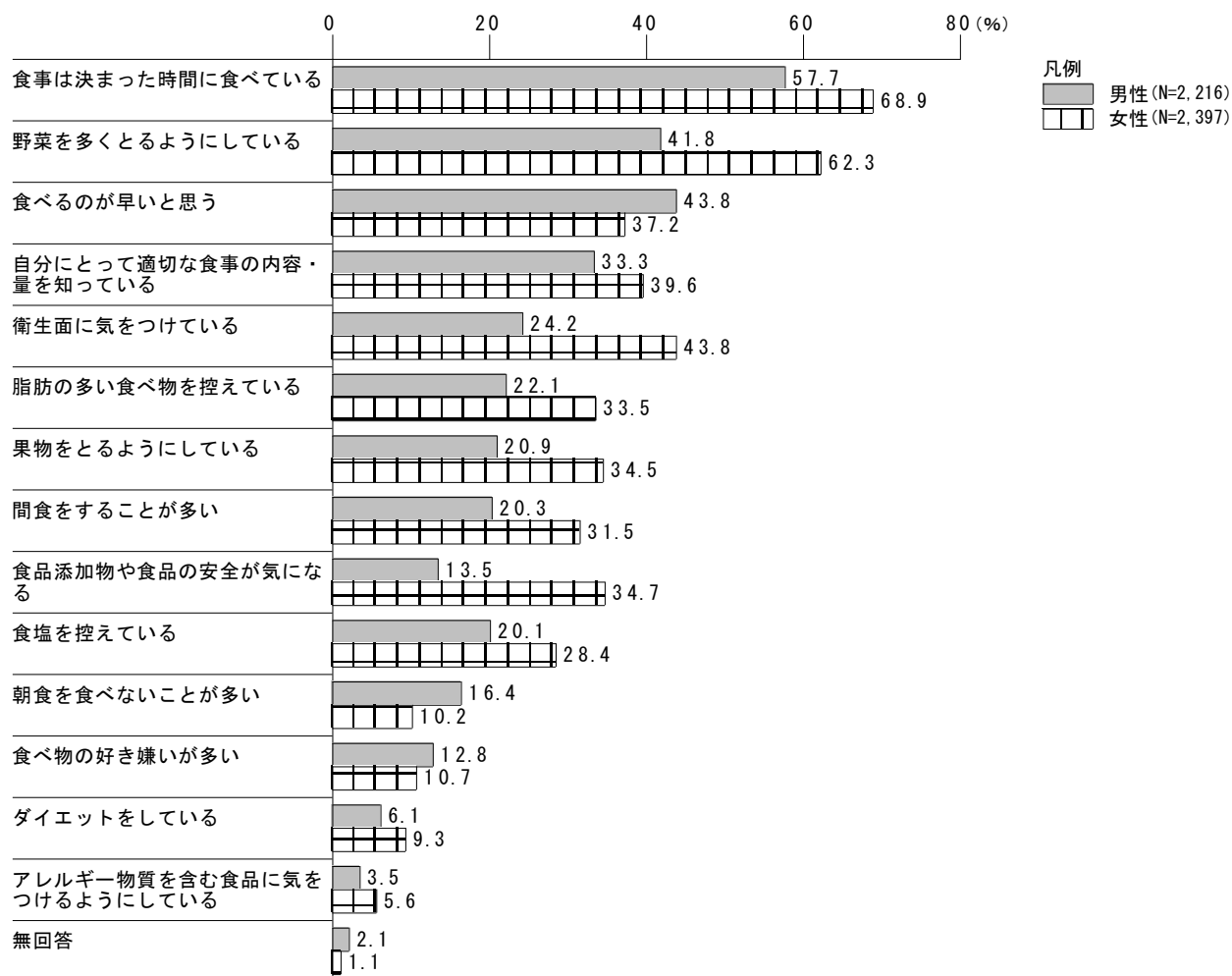
問9. ふだんの食生活の状況をお答えください。(〇はいくつでも)

【図 2-3-1 ふだんの食生活の状況 (経年比較)】



ふだんの食生活の状況について、経年比較すると、平成23年度調査が平成12年度、18年度調査を下回る項目が多く、「自分にとって適切な食事の内容・量を知っている」、「食品添加物や食品の安全が気になる」では10ポイント以上減少している。

【図 2-3-2 ふだんの食生活の状況（性別）】

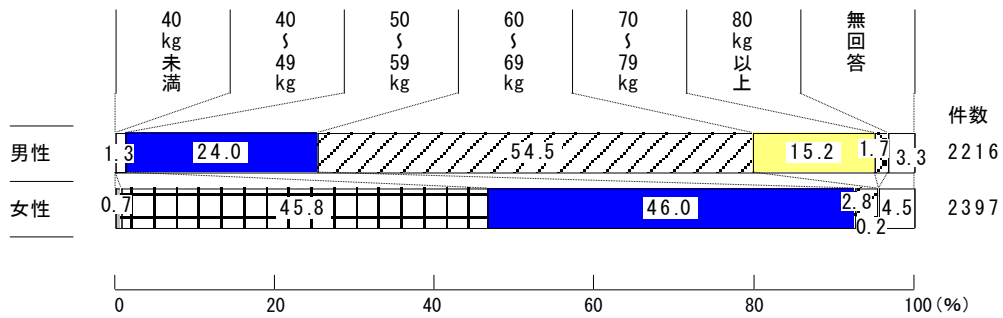


ふだんの食生活の状況について、性別にみると、「野菜を多くとるようにしている」、「食品添加物や食品の安全性が気になる」との回答は女性が男性を20ポイント以上上回っている。

一方、「食べるのが早いと思う」、「朝食を食べないことが多い」、「食べ物の好き嫌いが多い」との回答は男性が女性を上回っている。

問 10. あなたの身長で、適正と考える体重はどれくらいだと思いますか。

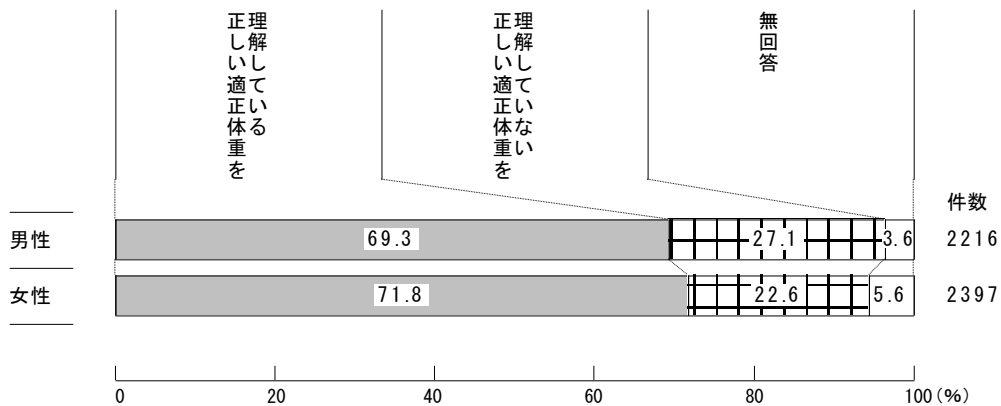
【図 2-3-3 適正体重について（性別）】



適正体重について、性別にみると、男性では「60～69kg」（54.5%）、女性では「50～59 kg」（46.0%）、「40～49kg」（45.8%）との回答が高くなっている。

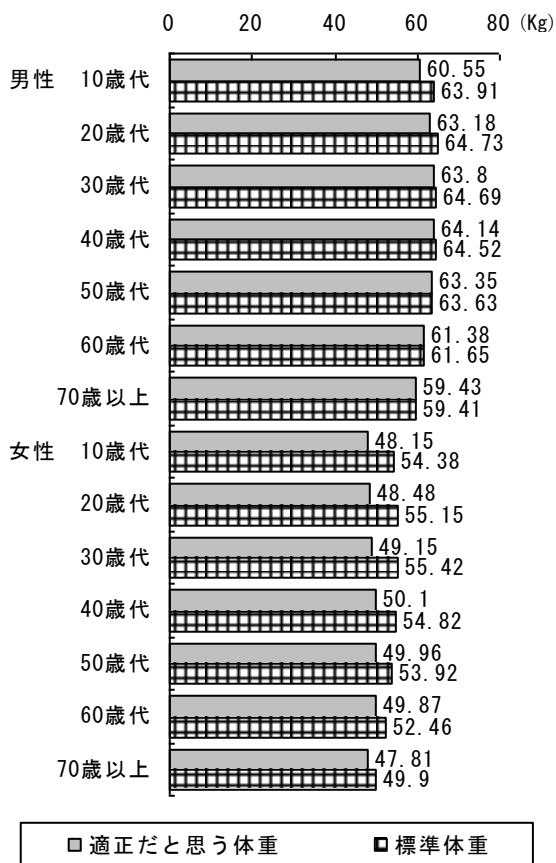
適正体重の認知度

【図 2-3-4 適正体重の認知度（性別）】

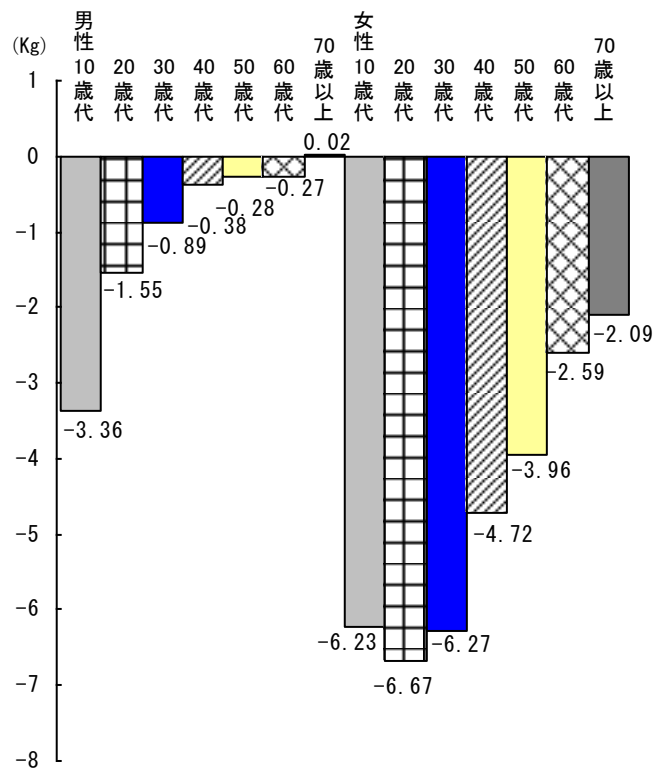


適正体重の認知度について、性別にみると、男女ともに「正しい適正体重を理解している」割合が7割前後と大きな差はみられない。

【図 2-3-5 自分の身長で適正と考える体重】



【図 2-3-6 適正と考える体重と標準体重の差】

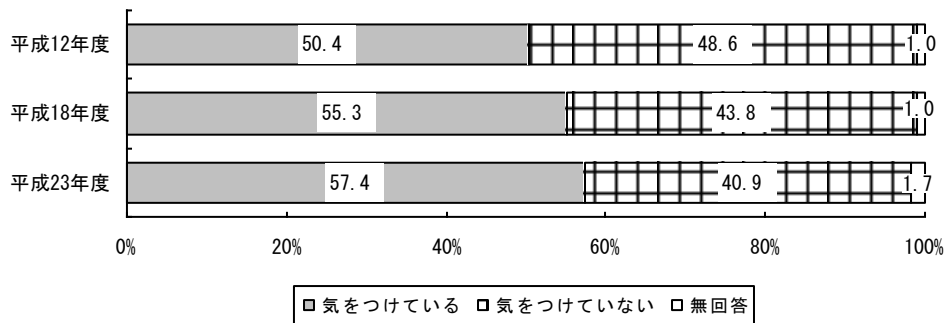


「自分の身長で適正と考える体重」と身長から算出する「標準体重」について、性・年齢別にみると、ほとんどの性・年齢で適正だと思う体重が標準体重より軽い体重となっている。

また、適正と考える体重と標準体重の差について、性・年齢別にみると、女性20～30歳代では6kg以上の差がみられる。

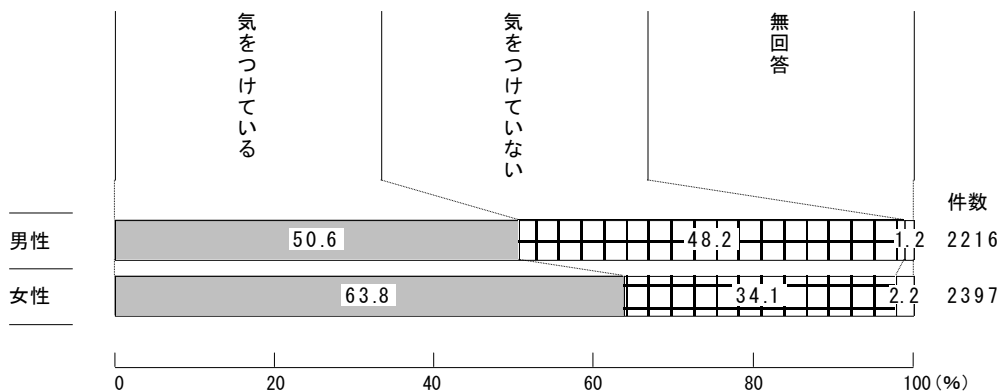
問 11. 体重管理のために、食事の量や内容に気をつけて食べていますか。(○は1つ)

【図 2-3-7 体重管理のための食事の量や内容（経年比較）】



体重管理のための食事の量や内容について、経年比較すると、「気をつけている」との回答では平成 23 年度（57.4%）が平成 12 年度（50.4%）を 7.0 ポイント上回っている。

【図 2-3-8 体重管理のための食事の量や内容（性別）】



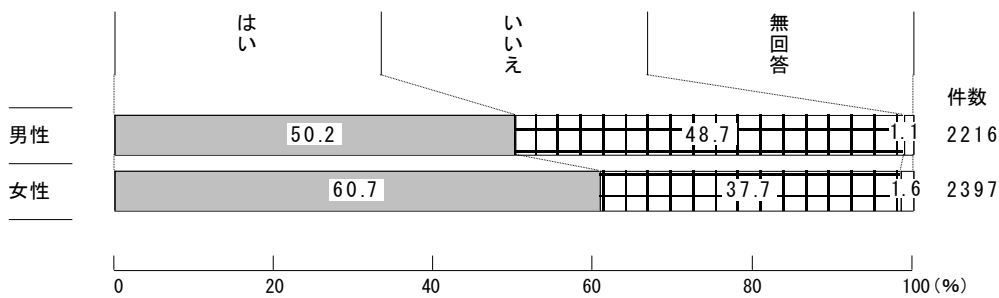
体重管理のための食事の量や内容について、性別にみると、「気をつけている」との回答では女性（63.8%）が男性（50.6%）を 13.2 ポイント上回っている。

【表 2-3-1 目標値の達成状況】

指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
自分の適性体重を認識し、 体重コントロールを実践する人	15 歳以上男性	40.3%	47.5%	50.1%
	15 歳以上女性	49.6%	62.4%	65.8%

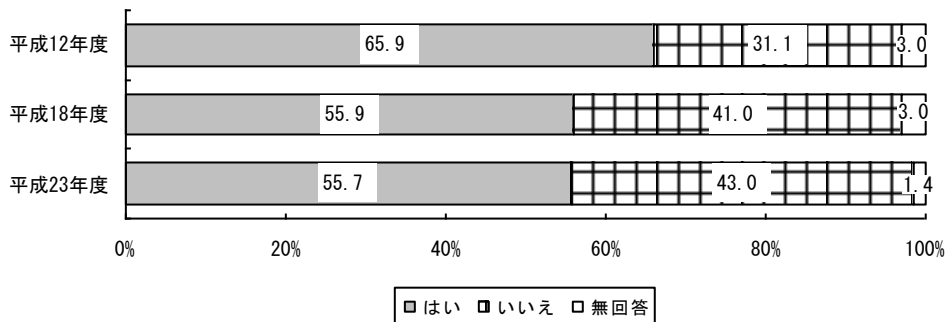
問 12. あなたは、1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べていますか。(○は1つ)

【図 2-3-9 1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べているか(性別)】



1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べているかについて、性別にみると、「はい」との回答では女性(60.7%)が男性(50.2%)を10.5ポイント上回っている。

【図 2-3-10 1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べているか(経年比較)】

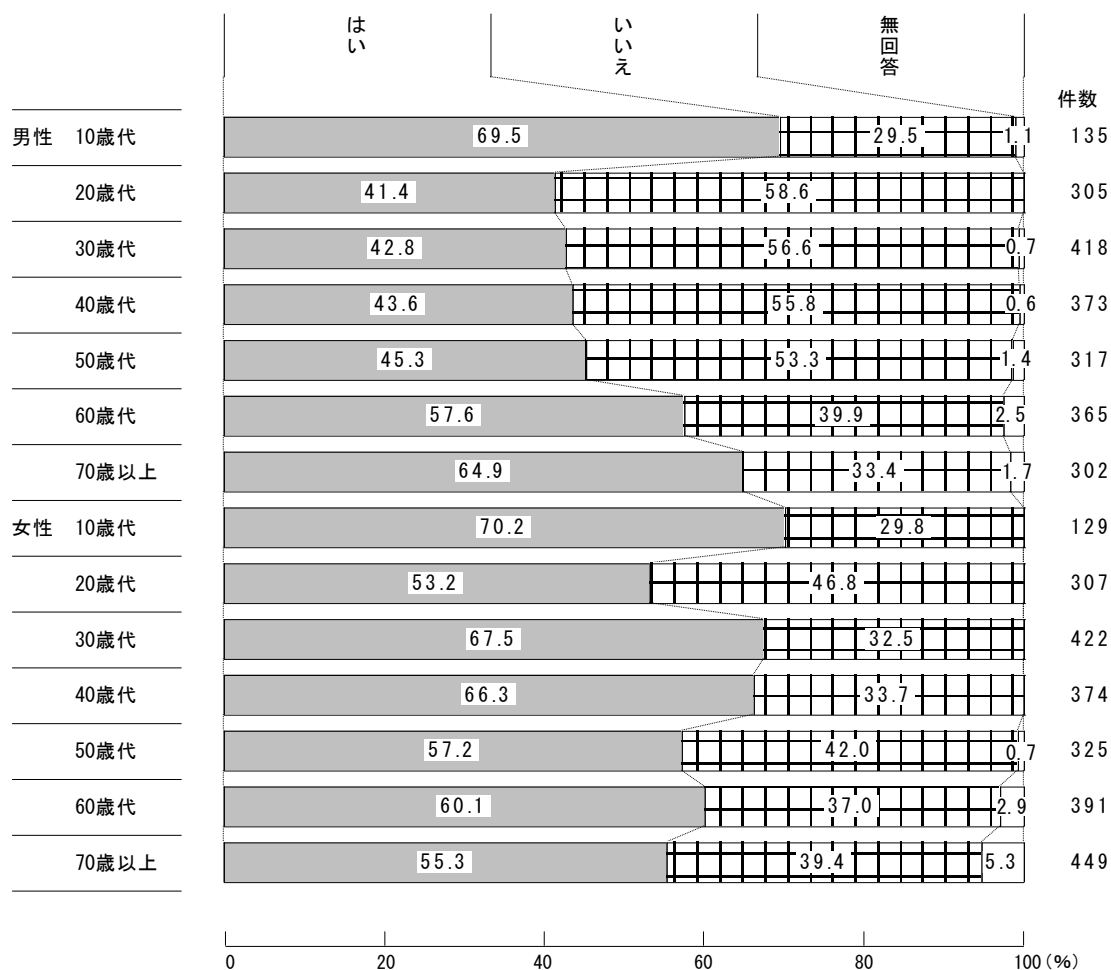


1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べているかについて、経年比較すると、「はい」との回答が平成12年度(65.9%)から平成23年度(55.7%)では10.2ポイント減少している。

【表 2-3-2 目標値の達成状況】

指標		平成12年度	平成18年度	平成23年度
1日最低1食、きちんとした食事を家族等2人以上で楽しく、30分以上かけてとる人	20歳以上	66.7%	55.9%	54.8%

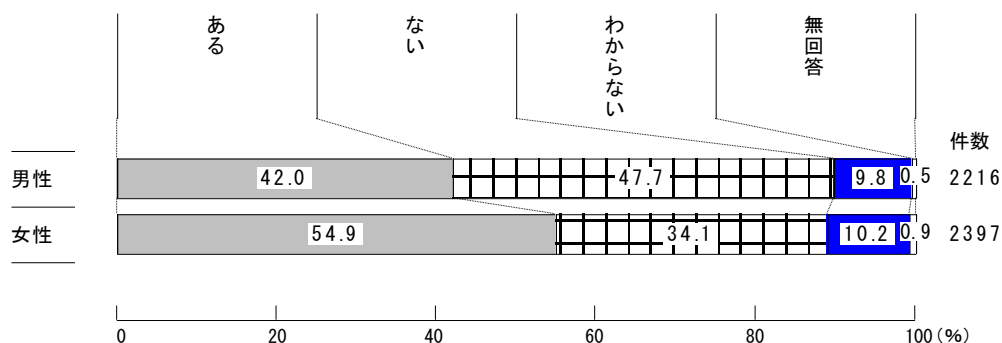
【図 2-3-11 1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べているか(性・年齢別)】



1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べているかについて、性・年齢別にみると、「はい」との回答が男性10歳代、70歳以上、女性30歳代、40歳代、60歳代で6割を超え、女性10歳代では70.2%と7割を超え最も高くなっている。

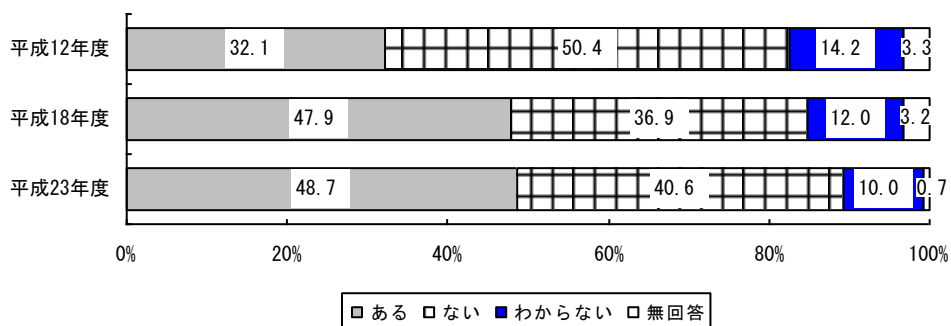
問 13. あなたは飲食店、レストラン、食品売場および職場（学校）の給食施設・食堂等のような場所で食品や料理の栄養成分表示を見たことがありますか。（○は1つ）

【図 2-3-12 栄養成分表示を見たことがあるか（性別）】



栄養成分表示を見たことがあるかについて、性別にみると、「ある」との回答では女性（54.9%）が男性（42.0%）を12.9ポイント上回っている。

【図 2-3-13 栄養成分表示を見たことがあるか（経年比較）】



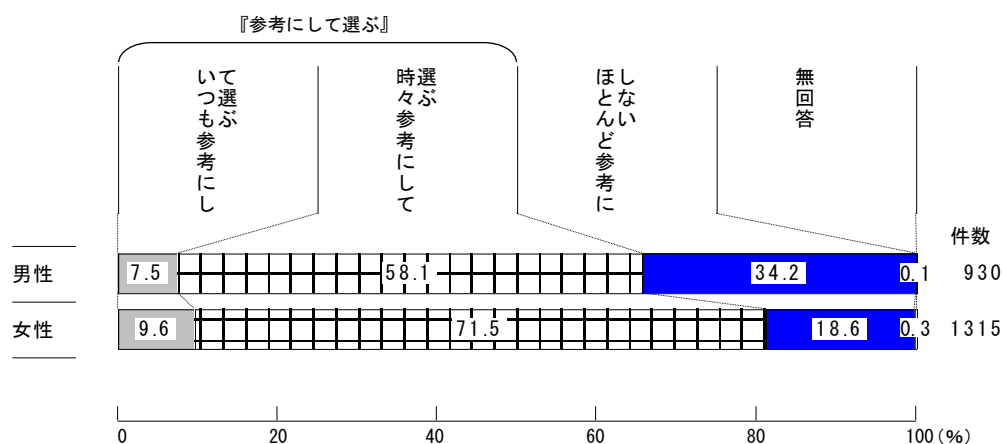
栄養成分表示を見たことがあるかについて、経年比較すると、「ある」との回答では平成23年度（48.7%）が平成12年度（32.1%）を16.6ポイント上回っている。



(問 13で「1 ある」と回答した方におうかがいします。)

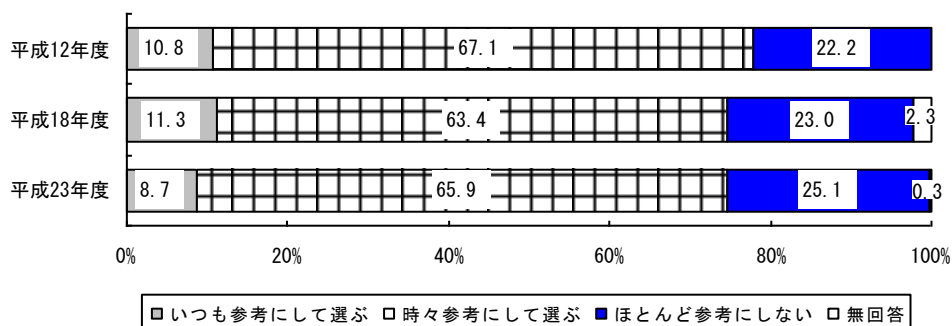
問 13-1. その場合、栄養成分表示を参考にしてメニューを選びますか。(○は1つ)

【図 2-3-14 栄養成分表示を参考にするか(性別)】



栄養成分表示を参考にするかについて、性別にみると、『参考にして選ぶ』との回答では女性(81.1%)が男性(65.6%)を15.5ポイント上回っている。

【図 2-3-15 栄養成分表示を参考にするか(経年比較)】



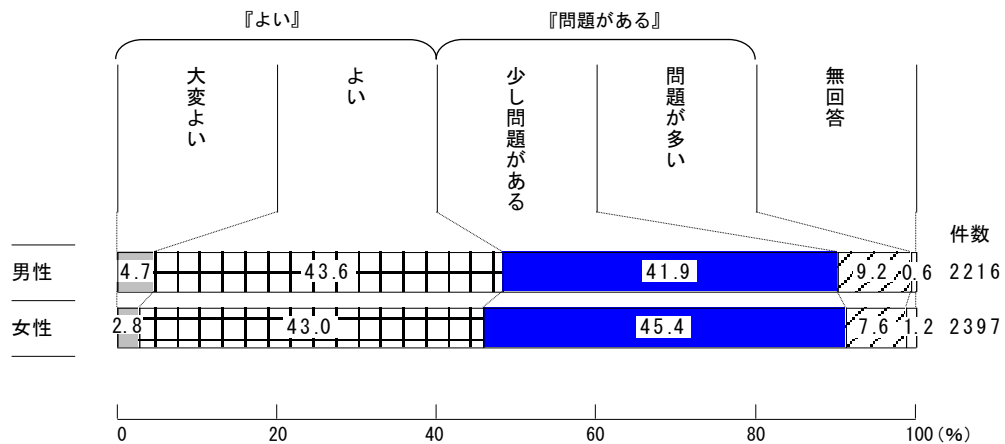
栄養成分表示を参考にするかについて、経年比較すると、いずれの調査においても『参考にして選ぶ』との回答が7割を超えている。

【表 2-3-3 目標値の達成状況】

指標		平成12年度	平成18年度	平成23年度
外食や食品を購入する時に 栄養成分表示を参考にする 人	15歳以上男性	8.2%	8.6%	7.5%
	15歳以上女性	12.4%	13.3%	9.6%

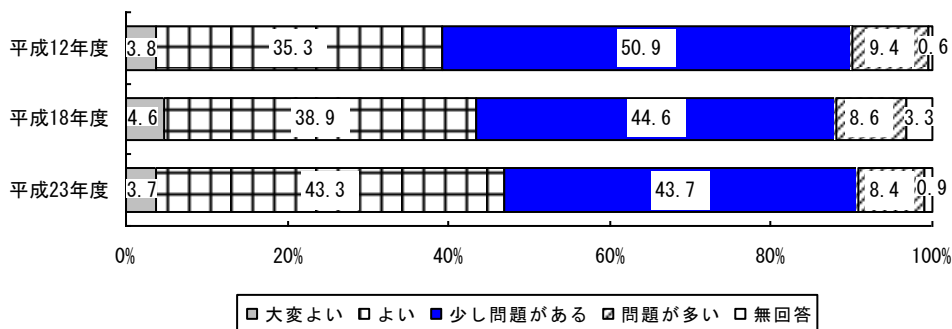
問 15. 現在の自分の食生活をどのように思いますか。(〇は1つ)

【図 2-3-16 現在の自分の食生活について（性別）】



現在の自分の食生活について、性別にみると、男女ともに『よい』との回答が約4割、『問題がある』との回答が約5割と男女間に大きな差はみられない。

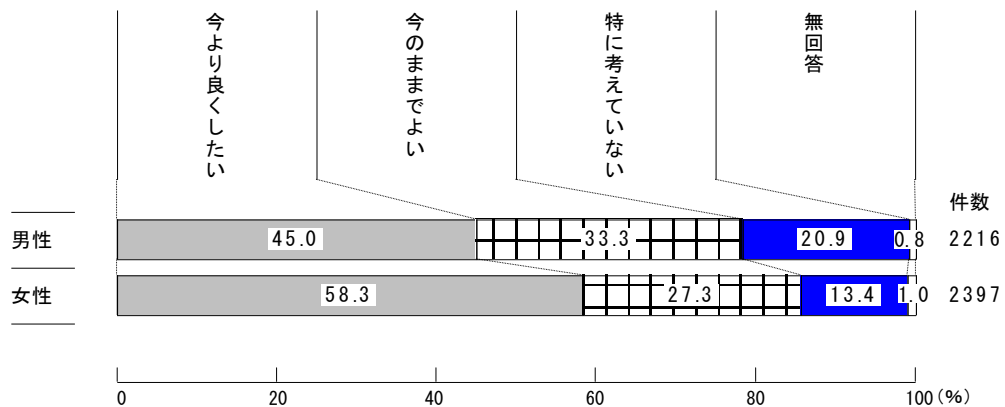
【図 2-3-17 現在の自分の食生活について（経年比較）】



現在の自分の食生活について、経年比較すると、『よい』との回答は平成23年度（47.0%）が他の調査に比べ高くなっており、平成12年度（39.1%）を7.9ポイント上回っている。

問 16. 自分の食生活について、今後どのようにしたいと思っていますか。(〇は1つ)

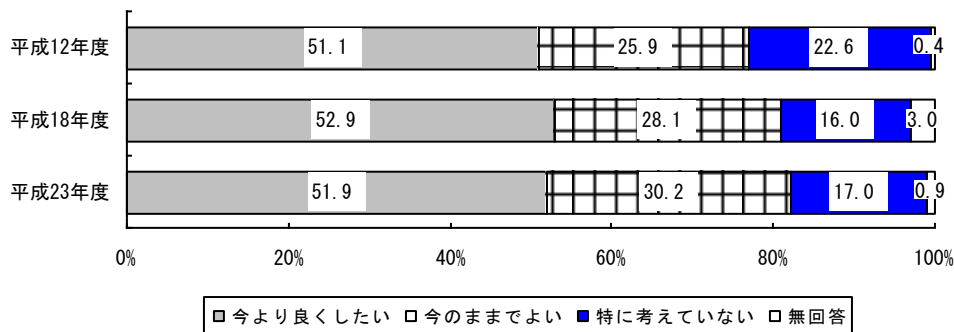
【図 2-3-18 今後の食生活について（性別）】



今後の食生活について、性別にみると、「今より良くしたい」との回答では、女性（58.3%）が男性（45.0%）を13.3ポイント上回っている。

また、男性では「特に考えていない」との回答も2割を超えている。

【図 2-3-19 今後の食生活について（経年比較）】



今後の食生活について、経年比較すると、いずれの調査においても「今より良くしたい」との回答が5割を超え大きな差はみられない。

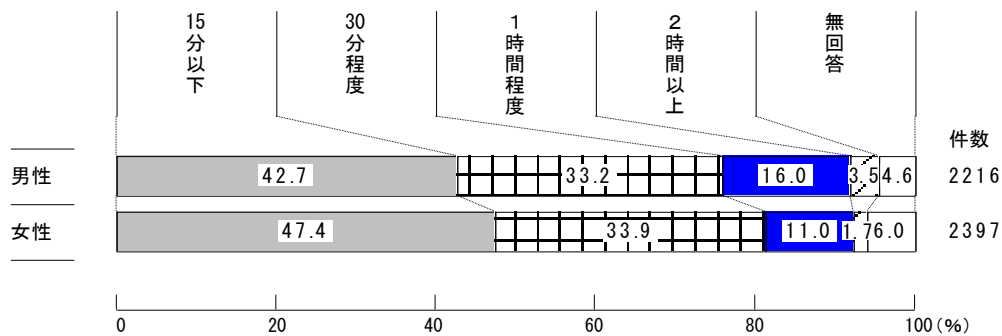
【表 2-3-4 目標値の達成状況】

指標		平成12年度	平成18年度	平成23年度
自分の食生活に問題がある と思う人のうち、改善意欲の ある人	20歳以上男性	64.0%	69.1%	68.0%
	20歳以上女性	78.2%	71.2%	79.0%

## 4 運動について

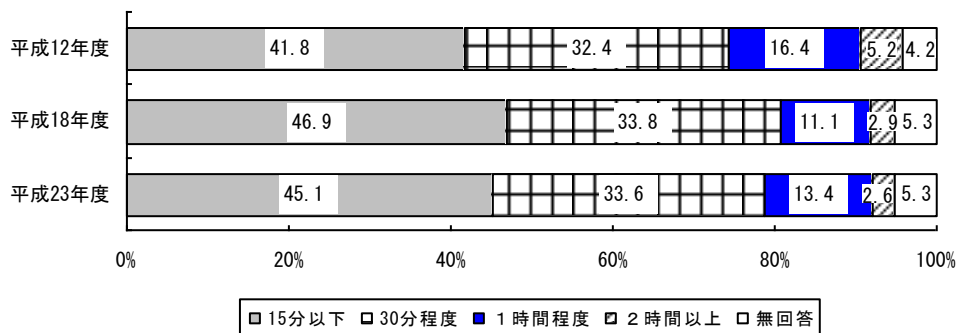
問 17. 健康のために、1日何分くらい歩いていますか。(〇は1つ)

【図 2-4-1 1日の歩行時間（性別）】



1日の歩行時間について、性別にみると、「1時間程度」との回答では男性（16.0%）が女性（11.0%）を5.0ポイント上回り、反対に「15分以下」との回答では女性（47.4%）が男性（42.7%）を4.7ポイント上回っている。

【図 2-4-2 1日の歩行時間（経年比較）】



1日の歩行時間について、経年比較すると、いずれの調査においても「15分以下」との回答が最も高く、大きな差はみられない。

【表 2-4-1 目標値の達成状況】

指標		平成12年度	平成18年度	平成23年度
30分以上健康のために歩く人の割合	70歳以上男性	62.4%	60.1%	57.9%
	70歳以上女性	55.1%	54.3%	47.9%

【表 2-4-2 目標値の達成状況】

指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
日常生活の歩数	20 歳以上男性	8,740 歩	8,995 歩	7,997 歩
	20 歳以上女性	7,471 歩	8,022 歩	7,772 歩
	70 歳以上男性	6,930 歩	6,322 歩	5,626 歩
	70 歳以上女性	4,267 歩	4,506 歩	5,797 歩

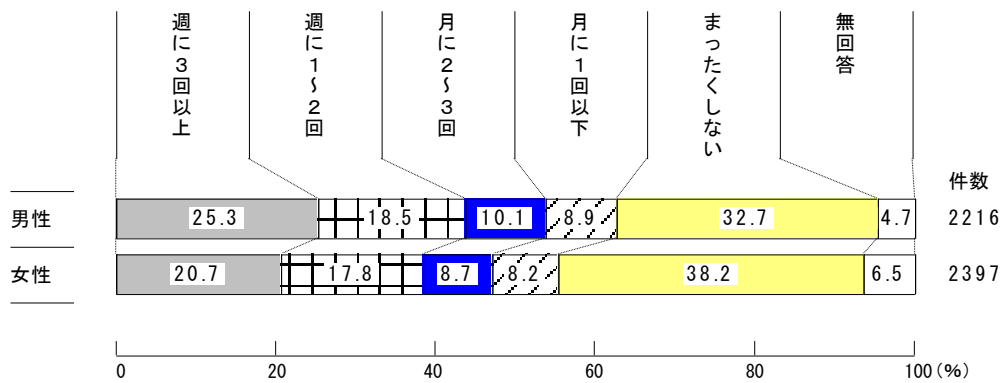
市民健康づくり生活習慣調査の対象者 5200 名のうち、700 名に歩数計による歩数調査を実施したところ、有効回収数は、356 名（50.9%）であった。

その結果、日常生活の歩数について、経年比較すると、20 歳以上および 70 歳以上の男性は、平成 23 年度が他の調査に比べ減少しており、20 歳以上の女性は、平成 23 年度が平成 12 年度に比べ増加している。また、70 歳以上の女性は、平成 23 年度が他の調査に比べ増加している。

問 18. 運動（1日30分以上）を、どのくらい行っていますか。（学校の授業は除きます。）

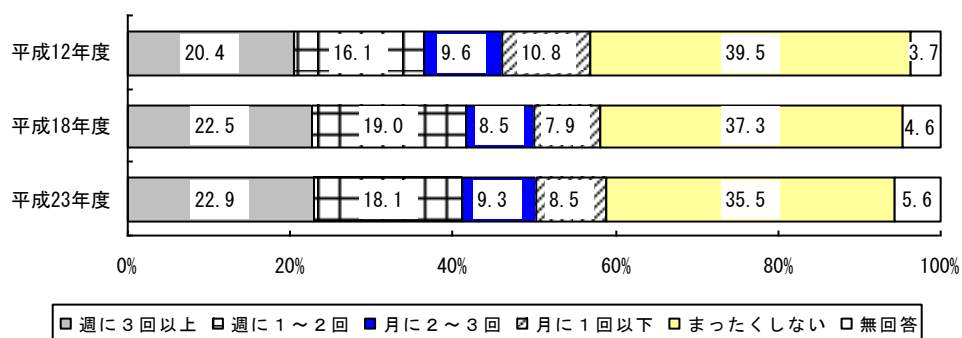
（○は1つ）

【図 2-4-3 運動頻度（性別）】



運動頻度について、性別にみると、「週に3回以上」との回答では男性（25.3%）が女性（20.7%）を4.6ポイント上回り、反対に「まったくしない」との回答では女性（38.2%）が男性（32.7%）を5.5ポイント上回っている。

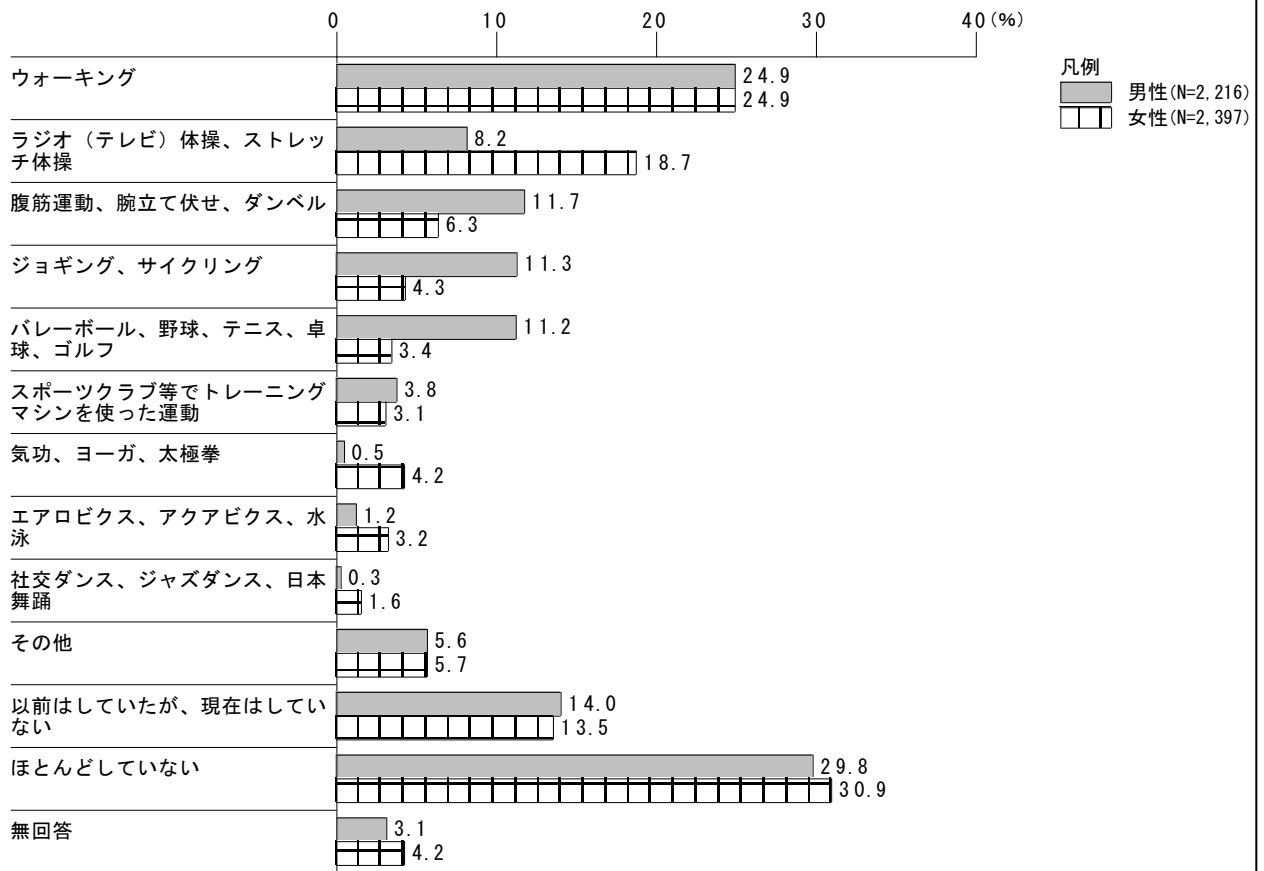
【図 2-4-4 運動頻度（経年比較）】



運動頻度について、経年比較すると、いずれの調査においても「週に3回以上」との回答が約2割と大きな差はみられない。

問 19. 週 1 回以上、意識的な運動をしていますか。(学校の授業は除きます。)(○はいくつでも)

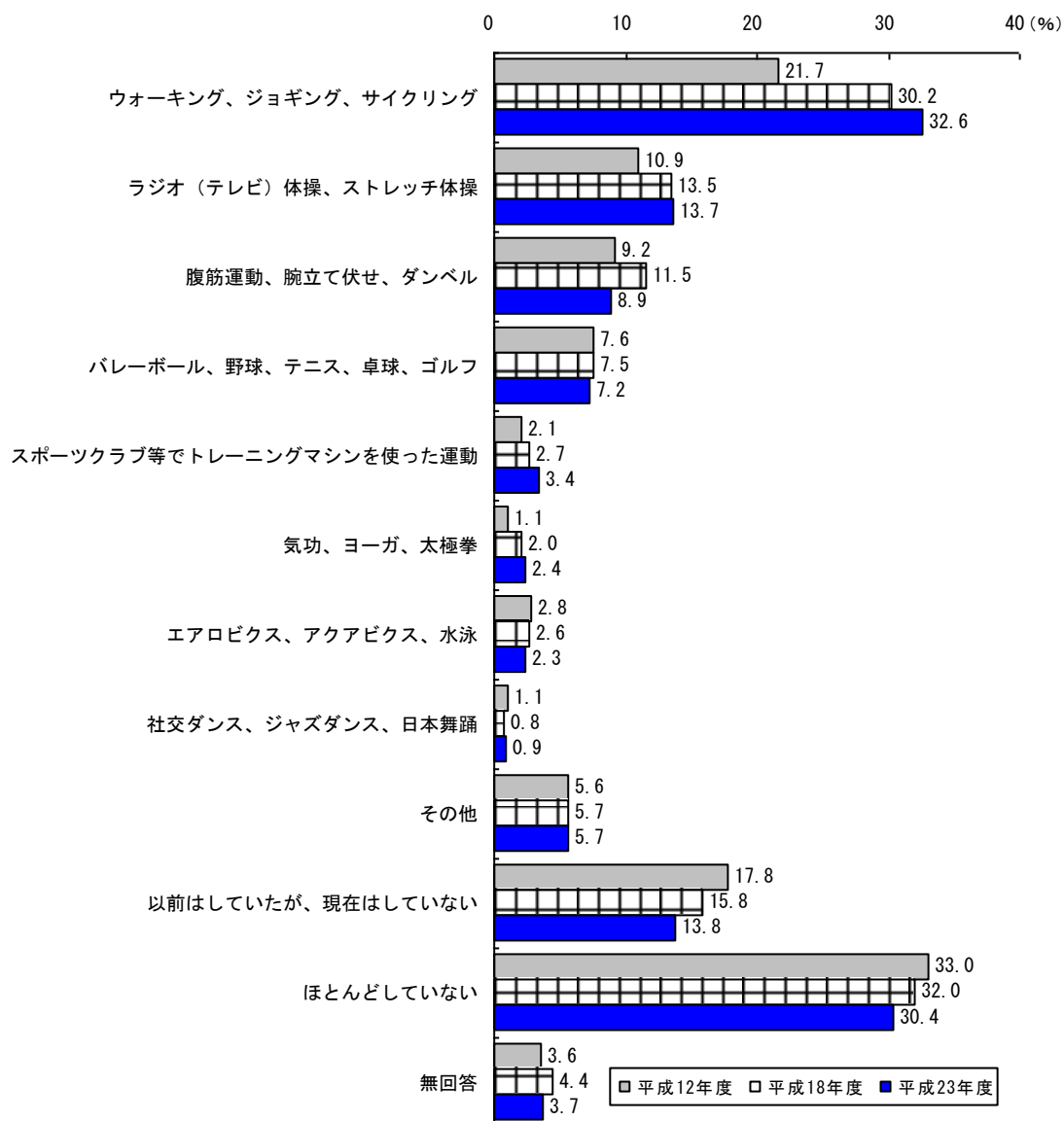
【図 2-4-5 意識的な運動の有無 (性別)】



意識的な運動の有無について、性別にみると、「ラジオ (テレビ) 体操、ストレッチ体操」との回答では女性 (18.7%) が男性 (8.2%) を 10.5 ポイント上回り、反対に「バレーボール、野球、テニス、卓球、ゴルフ」との回答では男性 (11.2%) が女性 (3.4%) を 7.8 ポイント上回っている。

また、男女ともに「ほとんどしていない」との回答も約 3 割となっている。

【図 2-4-6 意識的な運動の有無（経年比較）】



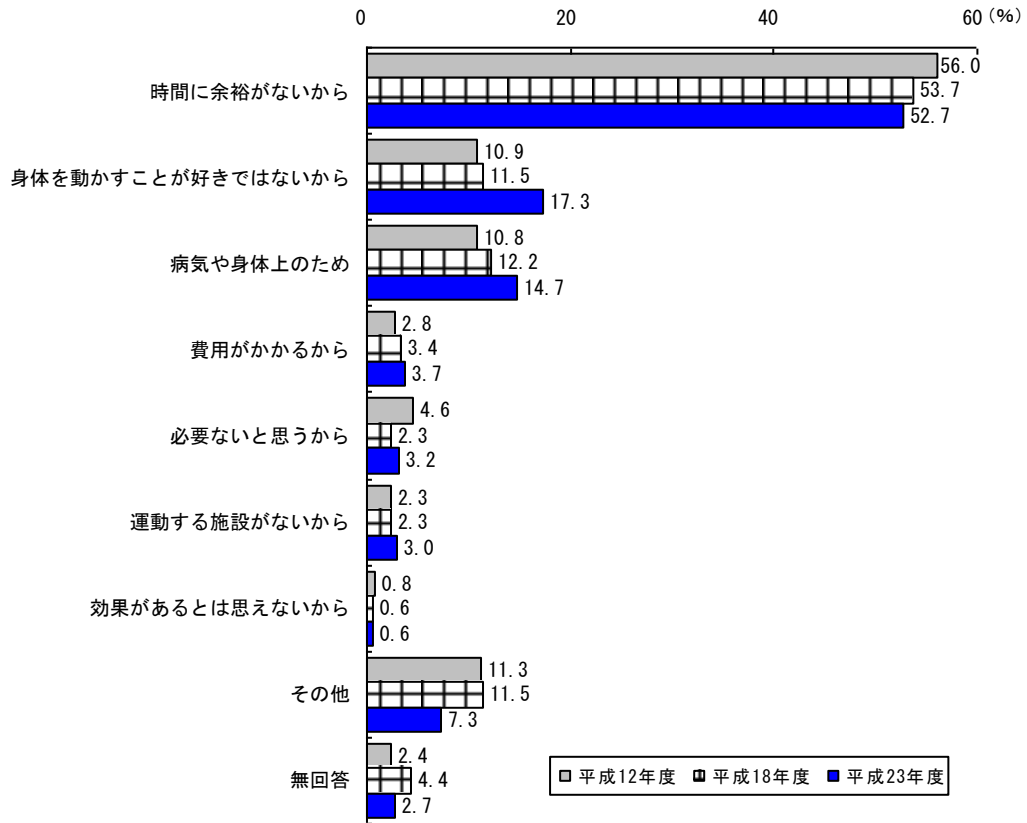
意識的な運動の有無について、経年比較すると、いずれの調査においても「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」との回答が高くなっているが、平成23年度調査(32.6%)と平成12年度調査(21.7%)では10.9ポイントの差がみられる。

【表 2-4-3 目標値の達成状況】

指標		平成12年度	平成18年度	平成23年度
意識的に体を動かすなどの運動をしている人の割合	20歳以上男性	48.2%	50.1%	51.9%
	20歳以上女性	41.3%	44.8%	51.2%



【図 2-4-7 運動をしていない理由（経年比較）】

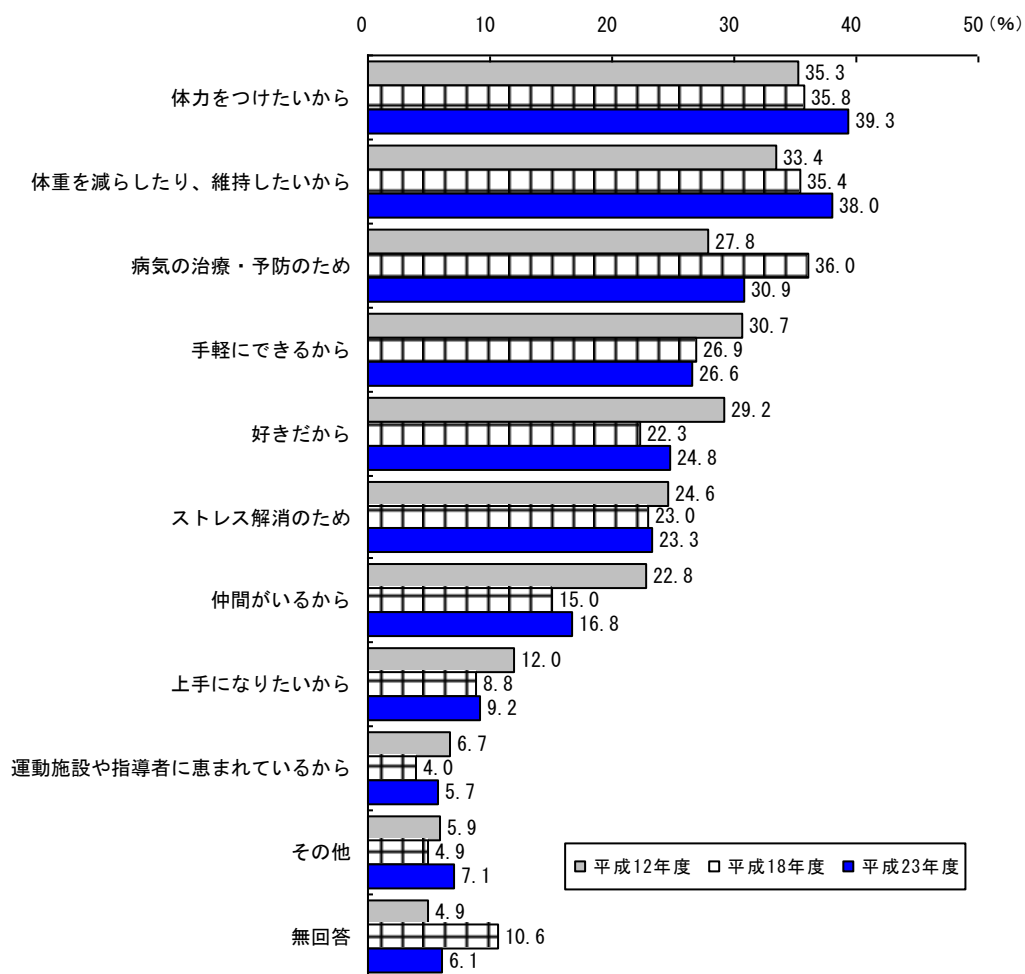


運動していない理由について、経年比較すると、いずれの調査においても「時間に余裕がないから」との回答が最も高く、大きな差はみられないが、「身体を動かすことが好きではないから」との回答は平成23年度調査が他の調査を5.0ポイント以上上回っている。

(問 19で「1～10」のいずれかに回答した方におうかがいします。)

問 19-2. 運動を続けられている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-4-8 運動を続けている理由(経年比較)】

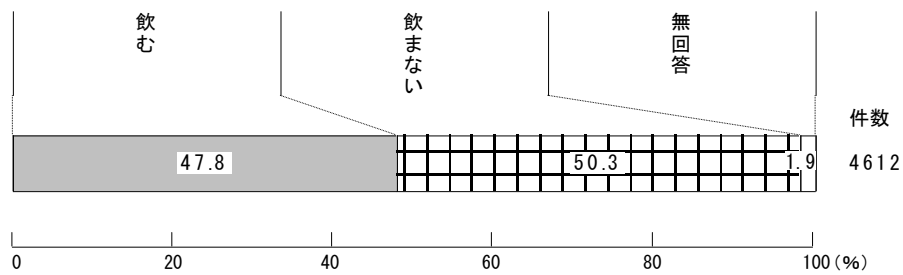


運動を続けている理由について、経年比較すると、「体力をつけたいから」、「体重を減らしたり、維持したいから」との回答は平成23年度調査が他の調査を上回っている。

## 5 飲酒について

問 20. ビール、日本酒、ウイスキーなどのお酒類を飲みますか。(○は1つ)

【図 2-5-1 飲酒の有無】

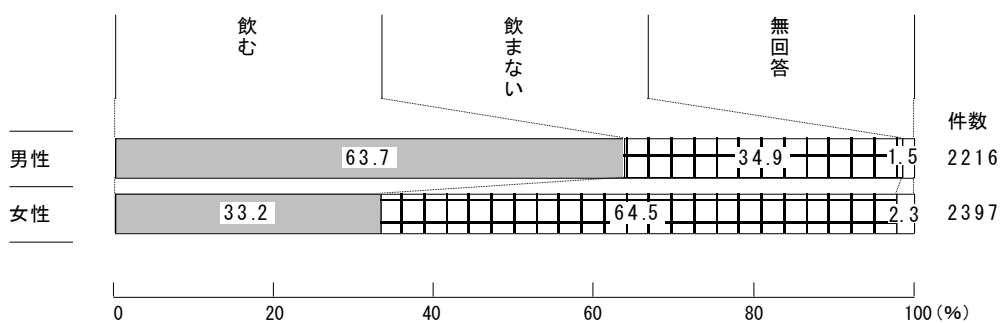


飲酒の有無について、「飲む」との回答が47.8%、「飲まない」との回答が50.3%となっている。

【表 2-5-1 目標値の達成状況】

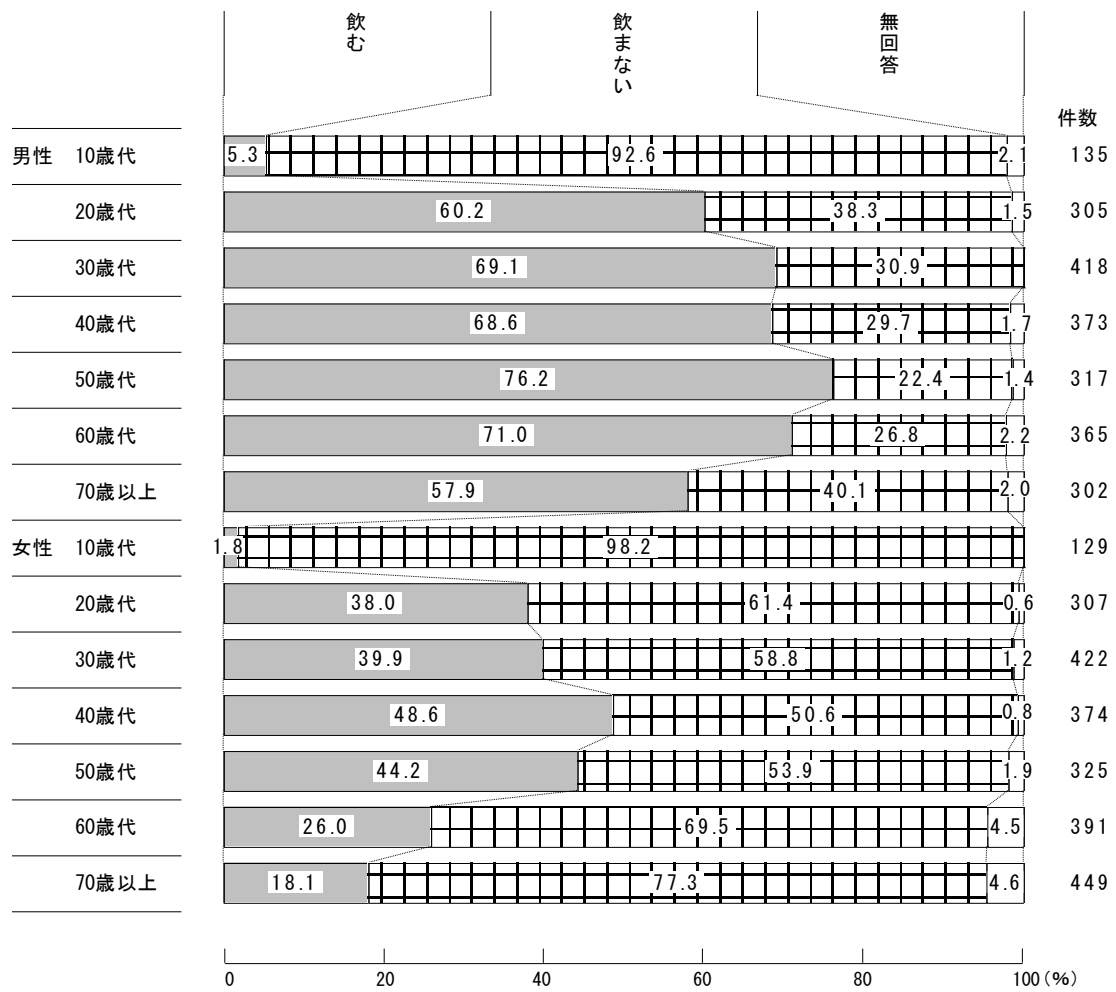
指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
未成年者で飲酒する人の割合	男性	15.1%	15.2%	5.3%
	女性	13.1%	14.6%	1.8%

【図 2-5-2 飲酒の有無（性別）】



飲酒の有無について、性別にみると、「飲む」との回答が男性では63.7%と6割を超え、女性（33.2%）を30.5ポイント上回っている。

【図 2-5-3 飲酒の有無（性・年齢別）】

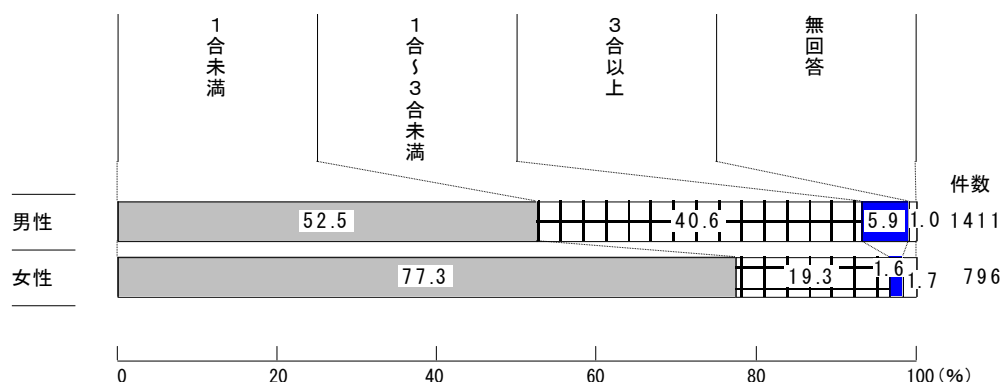


飲酒の有無について、性・年齢別にみると、「飲む」との回答が男性 20 歳代～60 歳代では 6 割を超え高くなっている。

(問 20 で「1 飲む」と回答した方におうかがいします。)

問 20-1. 日本酒に換算して(注) 1日平均してどのくらい飲んでいきますか。(〇は1つ)

【図 2-5-4 飲酒量 (性別)】



(注) 日本酒 1 合 = ビール大ビン 1 本 (633ml) = ワイン 2 杯 (120ml × 2) = ウィスキーダブル 1 杯 (60ml) = 焼酎 (25 度) 1 杯 (120ml)

飲酒量について、性別にみると、男女ともに「1 合未満」との回答が最も高くなっているが、男性 (52.5%) と女性 (77.3%) では 24.8 ポイントの差がみられる。

また、男性では「1 合～3 合未満」との回答も 4 割を超えている。

【表 2-5-2 目標値の達成状況】

指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
1 日 3 合を超え多量に飲酒する人の割合	20 歳以上男性	5.5%	3.4%	5.9%
	20 歳以上女性	1.1%	0.3%	1.6%

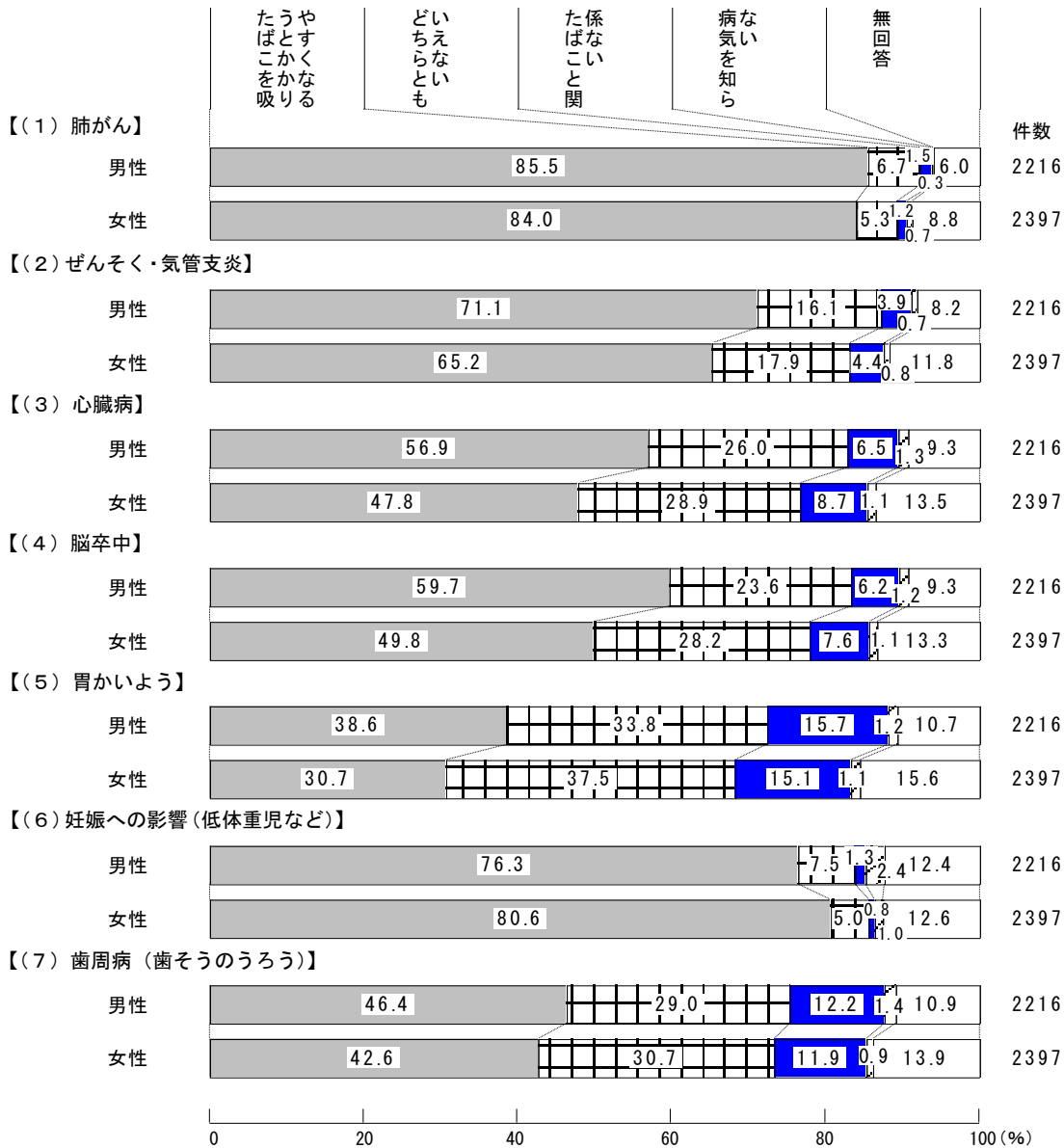
【表 2-5-3 目標値の達成状況】

指標	平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
「節度ある適度な飲酒」を理解している人 (1 合以下の飲酒をする人の割合)	38.2%	61.1%	61.5%

## 6 たばこについて

問 21. たばこが健康に与える影響についてどのように思いますか。次の (1) ~ (7) のそれぞれの病気等についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

【図 2-6-1 たばこが与える影響 (性別)】



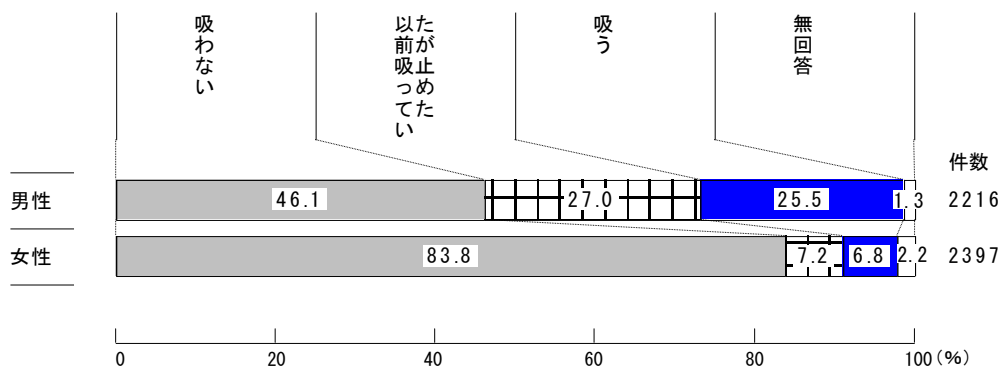
たばこが健康に与える影響について、性別にみると、「たばこを吸うとかかりやすくなる」との回答では男性が女性を上回る項目が多く、「(4) 脳卒中」では 9.9 ポイント、「(3) 心臓病」では 9.1 ポイント、「(5) 胃かいよう」では 7.9 ポイント、「(2) ぜんそく・気管支炎」では 5.9 ポイントの差がみられる。

【表 2-6-1 目標値の達成状況】

指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を持つ人の割合	肺がん	81.0%	84.6%	84.7%
	ぜんそく・気管支炎	58.7%	64.3%	68.0%
	心臓病	40.7%	49.0%	52.2%
	脳卒中	37.2%	49.9%	54.6%
	胃かいよう	30.5%	32.2%	34.5%
	妊娠への影響	74.7%	76.7%	78.6%
	歯周病	30.0%	38.7%	44.4%

問 22. あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

【図 2-6-2 喫煙の有無（性別）】



喫煙の有無について、性別にみると、「吸わない」との回答では女性が 83.8%と 8 割を超え高く、男性 (46.1%) を 37.7 ポイント上回っている。男性では「以前吸っていたが止めた」との回答が 27.0%と高くなっている。

【表 2-6-2 目標値の達成状況】

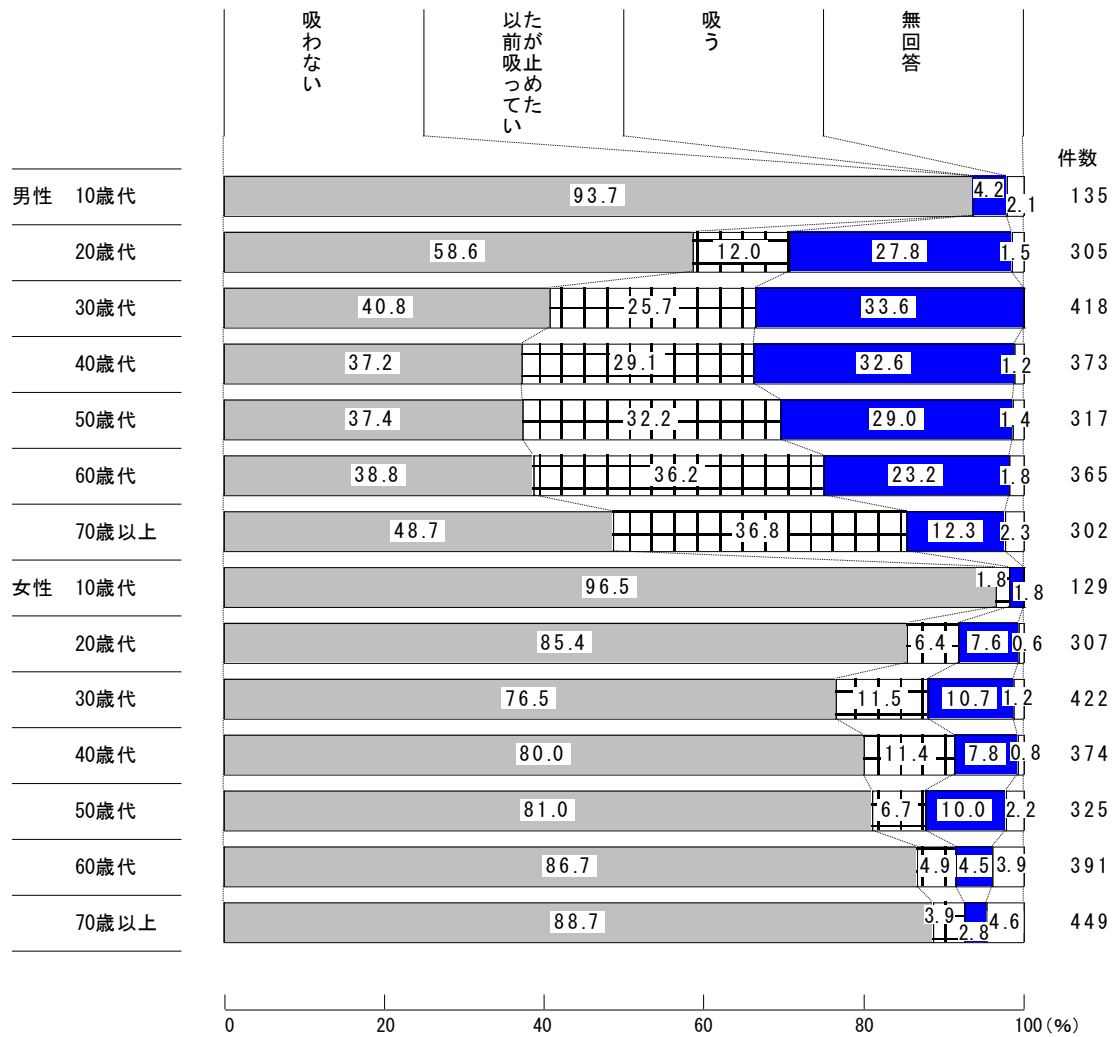
指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
成人の喫煙率	男性	42.1%	34.7%	26.9%
	女性	11.0%	8.8%	7.1%

【表 2-6-3 目標値の達成状況】

指標		平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
未成年者の喫煙率	男性	15.1%	9.6%	4.2%
	女性	4.7%	4.9%	1.8%



【図 2-6-3 喫煙の有無（性・年齢別）】



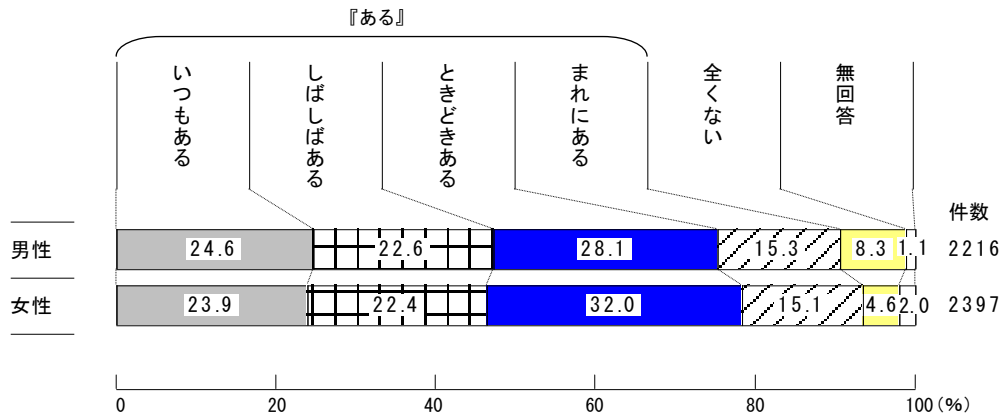
喫煙の有無について、性・年齢別にみると、いずれの性・年齢においても「吸わない」との回答が最も高くなっているが、男性20歳代～50歳代では「吸う」との回答が約3割ある。

## 7 ストレス・休養について

問 23. 仕事や日常生活の中で、最近 1 ヶ月間で不満・悩み・苦勞・ストレスなどがありましたか。

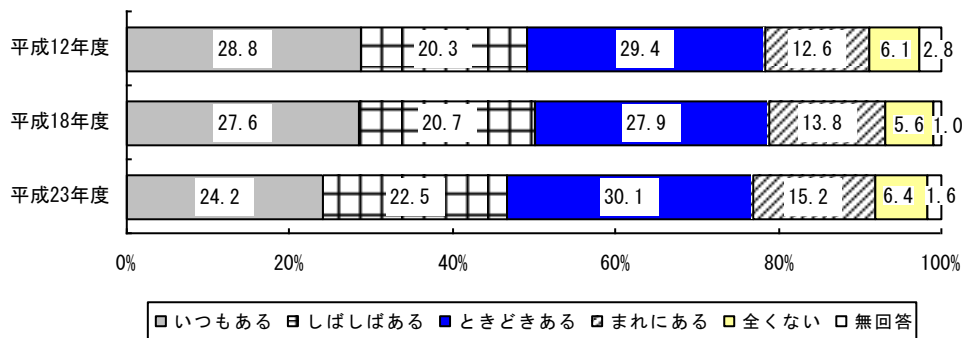
(○は1つ)

【図 2-7-1 不満・悩み・苦勞・ストレスの有無（性別）】



不満・悩み・苦勞・ストレスの有無について、性別にみると、男女ともに『ある』との回答が9割を超え、男女間に大きな差はみられない。

【図 2-7-2 不満・悩み・苦勞・ストレスの有無（経年比較）】



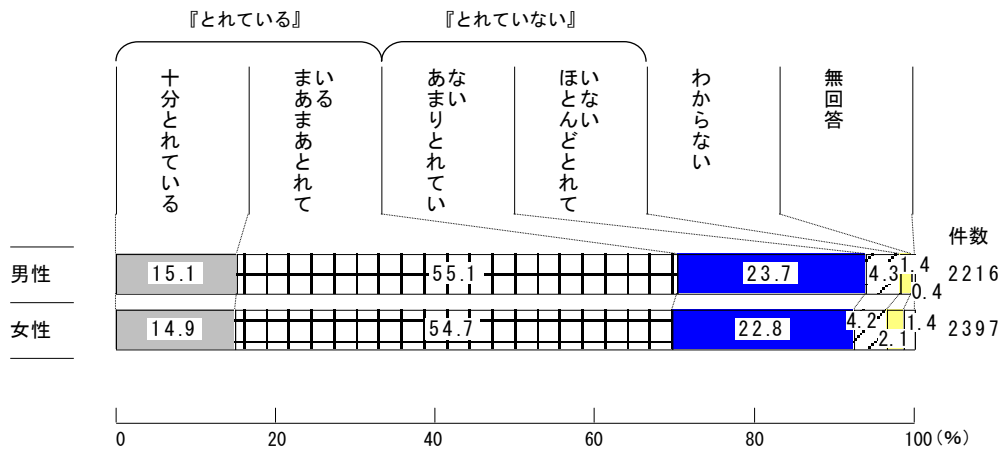
不満・悩み・苦勞・ストレスの有無について、経年比較すると、いずれの調査においても『ある』との回答が約9割と大きな差はみられない。

【表 2-7-1 目標値の達成状況】

指標	平成12年度	平成18年度	平成23年度
最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合	78.6%	76.2%	76.8%

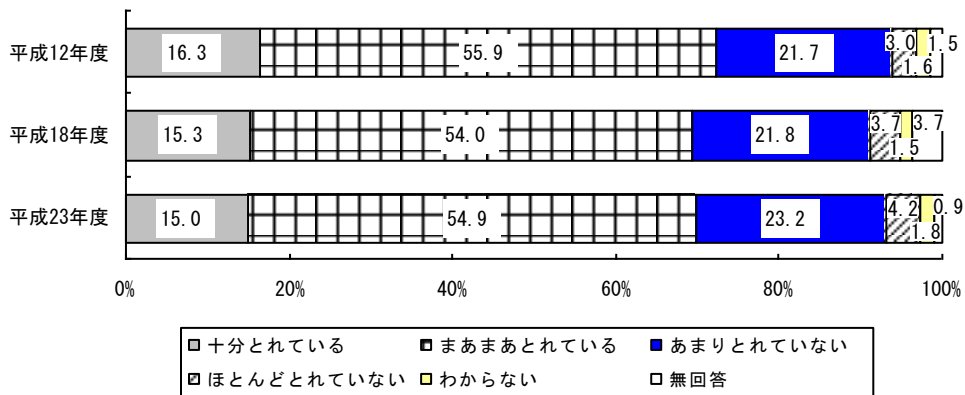
問 24. 睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(○は1つ)

【図 2-7-3 睡眠による休養（性別）】



睡眠による休養について、性別にみると、男女ともに『とれている』との回答が約7割と男女間に大きな差はみられない。

【図 2-7-4 睡眠による休養（経年比較）】



睡眠による休養について、経年比較すると、いずれの調査においても『とれている』との回答が7割前後と大きな差はみられない。

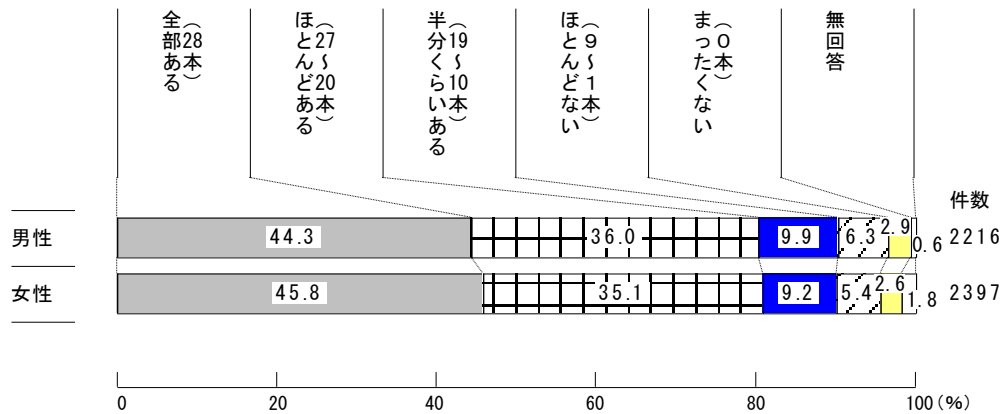
【表 2-7-2 目標値の達成状況】

指標	平成12年度	平成18年度	平成23年度
睡眠による休養が十分とれていない人の割合	24.7%	25.5%	27.4%

## 8 歯の健康について

問 25. 現在の自分の歯の本数について、あてはまるのはどれですか。(○は1つ)  
 (「親知らず」は含みません。削って詰めた歯や「さし歯」も自分の歯とします。)

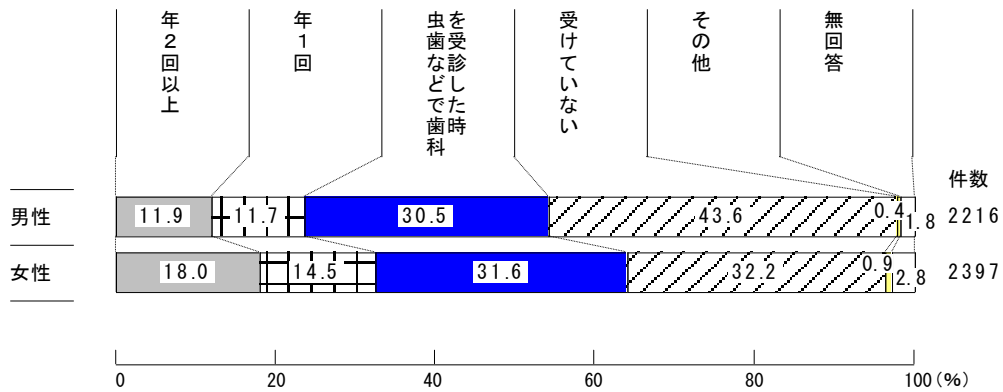
【図 2-8-1 歯の本数 (性別)】



歯の本数について、性別にみると、男女ともに「全部ある (28本)」との回答が4割を超え最も高くなっている。

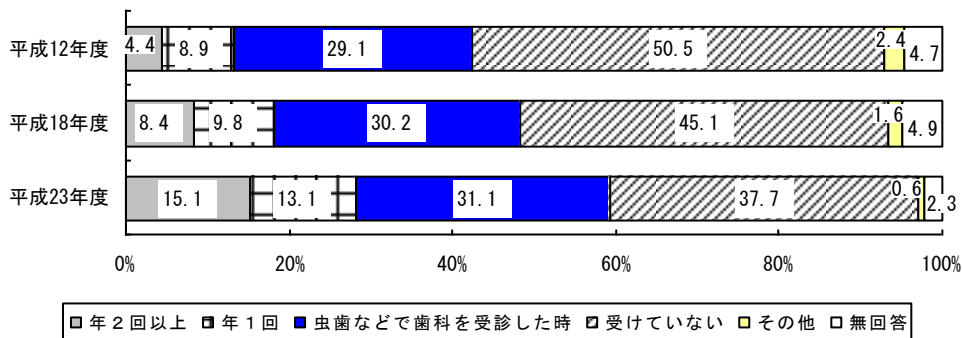
問 26. 定期的に歯石除去を受けていますか。(○は1つ)

【図 2-8-2 定期的な歯石除去の有無（性別）】



定期的な歯石除去の有無について、性別にみると、「年2回以上」との回答では女性（18.0%）が男性（11.9%）を6.1ポイント上回り、反対に「受けていない」との回答では男性（43.6%）が女性（32.2%）を11.4ポイント上回っている。

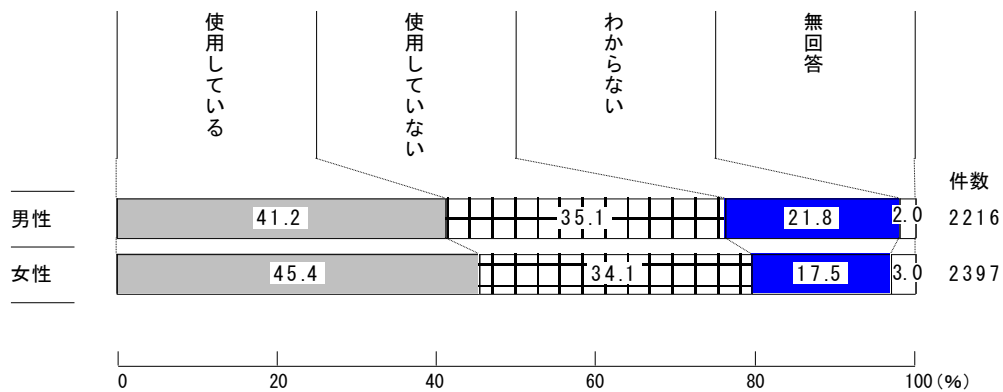
【図 2-8-3 定期的な歯石除去の有無（経年比較）】



定期的な歯石除去の有無について、経年比較すると、「年2回以上」との回答は平成23年度（15.1%）で他の調査に比べ高くなっており、平成12年度（4.4%）と10.7ポイントの差がみられる。

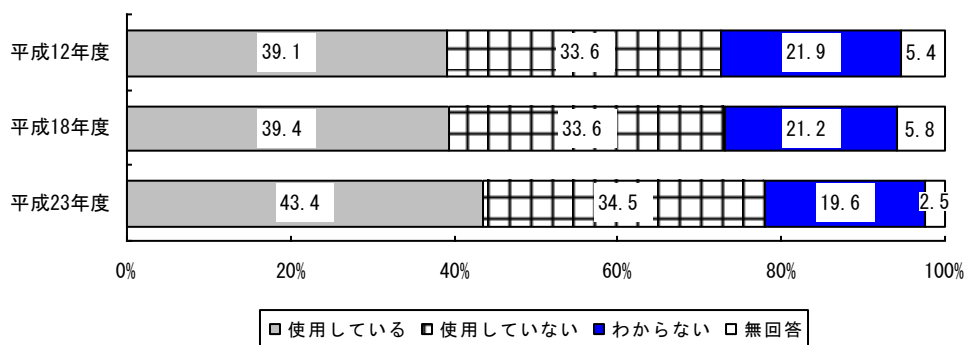
問 27. フッ素入りの歯磨き剤を使用していますか。(○は1つ)

【図 2-8-4 フッ素入り歯磨き剤の使用の有無（性別）】



フッ素入り歯磨き剤の使用の有無について、性別にみると、「使用している」との回答では女性（45.4%）が男性（41.2%）を4.2ポイント上回っている。

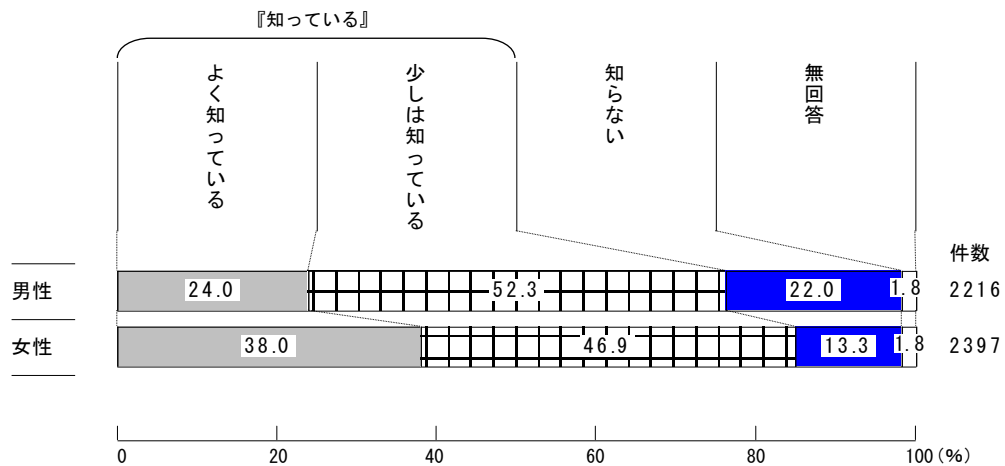
【図 2-8-5 フッ素入り歯磨き剤の使用の有無（経年比較）】



フッ素入り歯磨き剤の使用の有無について、経年比較すると、いずれの調査においても「使用している」との回答が4割前後と大きな差はみられない。

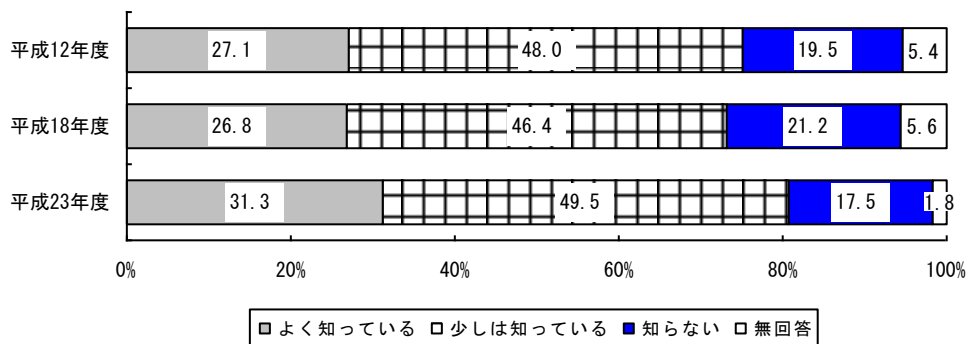
問 28. フッ素入りの歯磨き剤がむし歯予防に効果があることを知っていますか。(○は1つ)

【図 2-8-6 フッ素入り歯磨き剤がむし歯予防に効果的なことを知っているか（性別）】



フッ素入り歯磨き剤がむし歯予防に効果的なことを知っているかについて、性別にみると、『知っている』との回答では女性（84.9%）が男性（76.3%）を8.6ポイント上回っている。

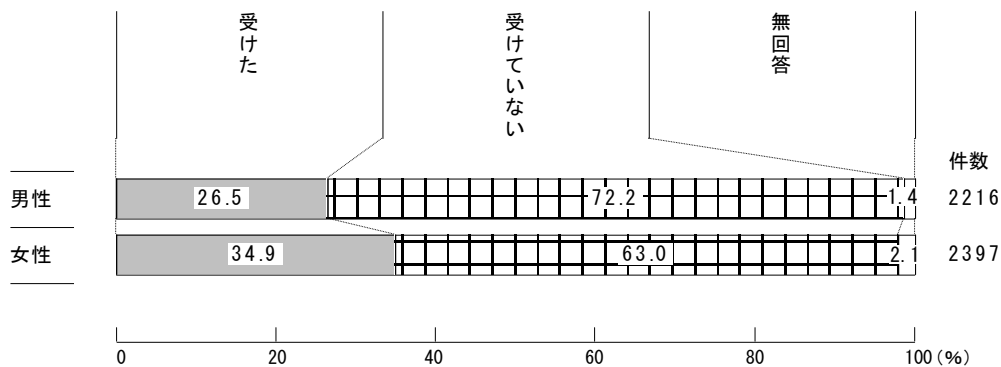
【図 2-8-7 フッ素入り歯磨き剤がむし歯予防に効果的なことを知っているか（経年比較）】



フッ素入り歯磨き剤の効果について、経年比較すると、『知っている』との回答が平成23年度で他の調査に比べ高くなっている。

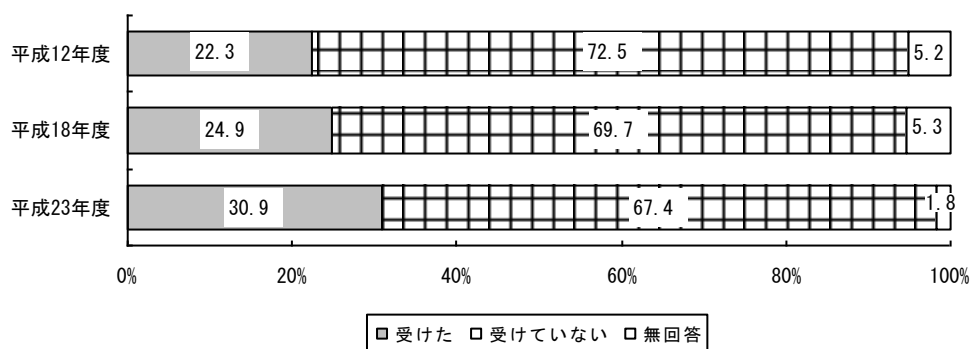
問 29. 昨年 1 年間に歯磨きの個人指導を受けましたか。(○は 1 つ)

【図 2-8-8 歯磨きの個人指導の有無 (性別)】



歯磨きの個人指導の有無について、性別にみると、「受けた」との回答では女性(34.9%)が男性(26.5%)を8.4ポイント上回っている。

【図 2-8-9 歯磨きの個人指導の有無 (経年比較)】

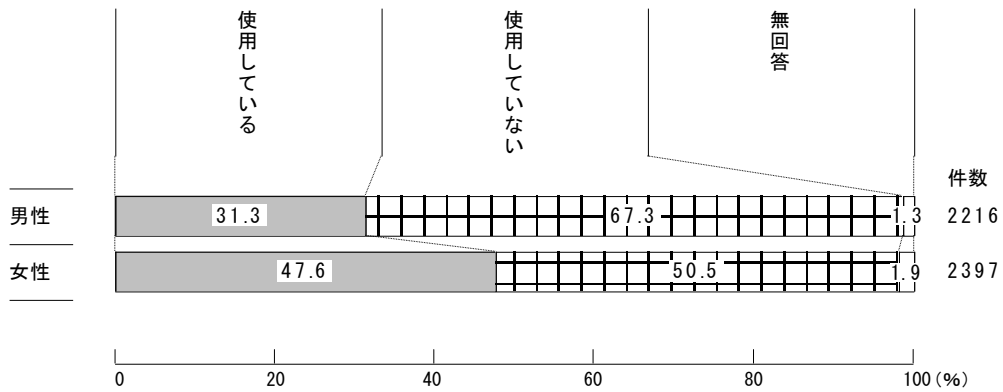


歯磨きの個人指導の有無について、経年比較すると、「受けた」との回答が平成 23 年度で 30.9%と 3 割を超え他の調査に比べ高くなっている。



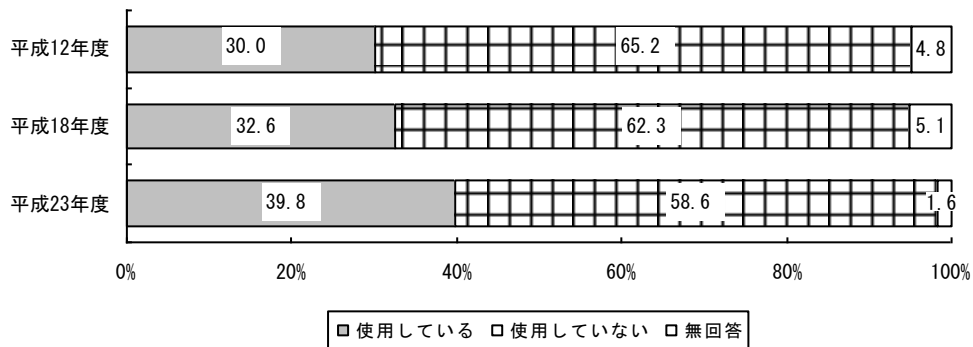
問 30. 歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）を使用していますか。（○は1つ）

【図 2-8-10 歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）の使用の有無（性別）】



歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）の使用の有無について、性別にみると、「使用している」との回答では女性（47.6%）が男性（31.3%）を16.3ポイント上回っている。

【図 2-8-11 歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）の使用の有無（経年比較）】

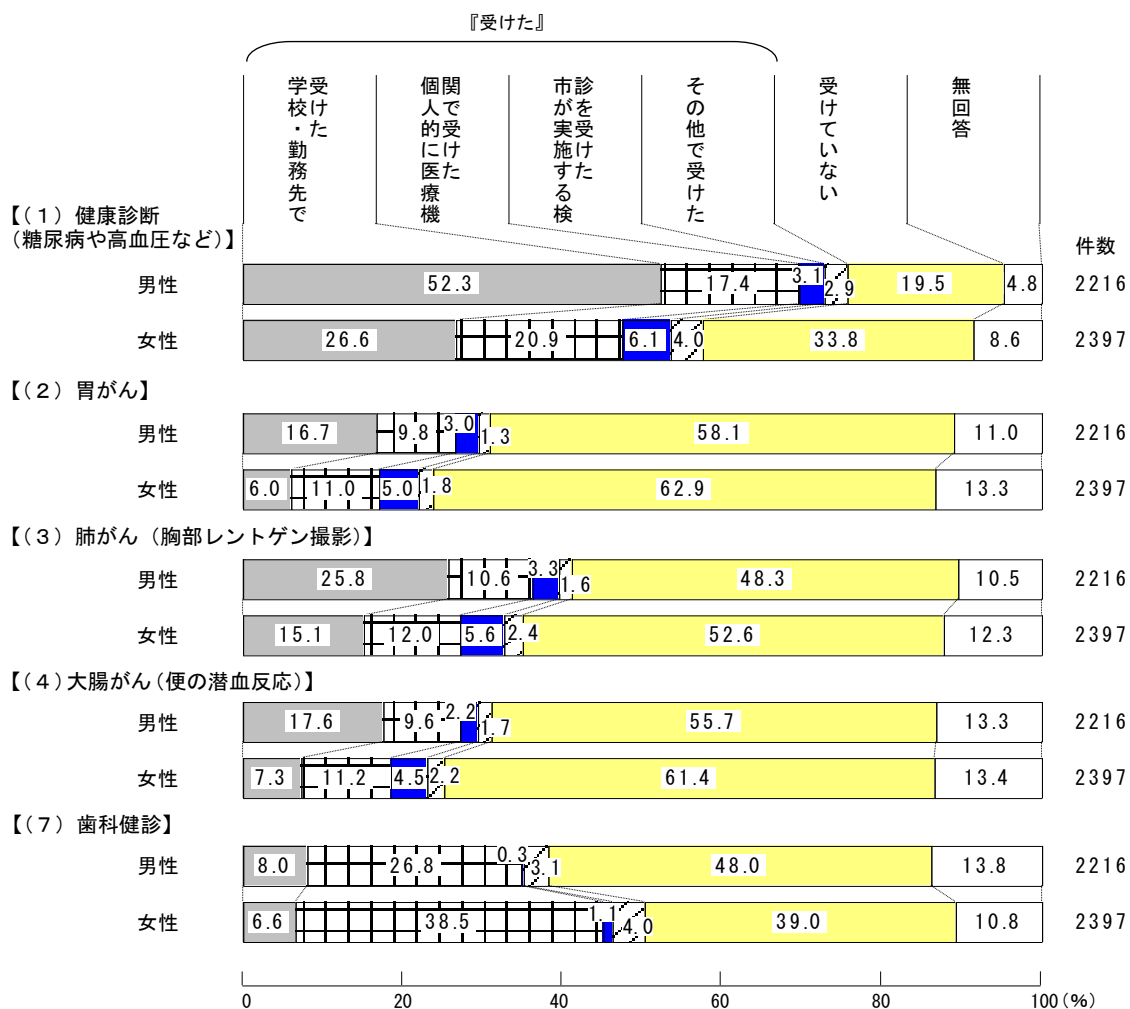


歯間ブラシやデンタルフロス（糸ようじ）の使用の有無について、経年比較すると、「使用している」との回答が年度を重ねるにつれ高くなっている。

## 9 検診状況等について

問 31. 昨年 1 年間に次の検診を受けましたか。次の (1)～(7) のそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ 1 つずつ)

【図 2-9-1 検診の受診について (性別)】

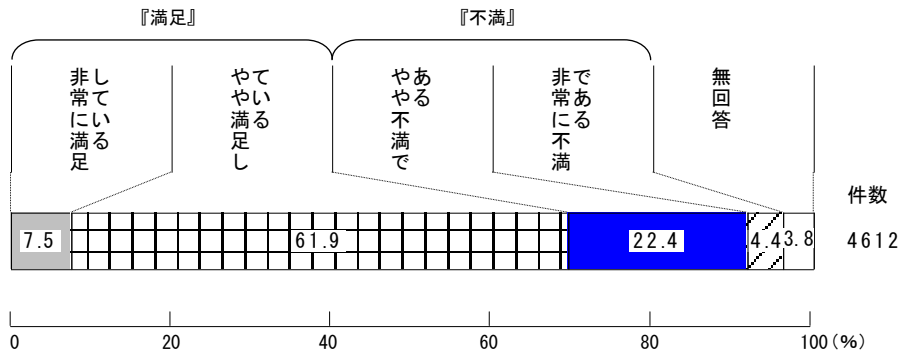


検診の受診について、「(1) 健康診断 (糖尿病や高血圧など)」の項目では「学校・勤務先で受けた」との回答が男性では 52.3%と 5 割を超えているのに対し、女性では 26.6%と 3 割に満たない。

## 10 健康のまちづくりについて

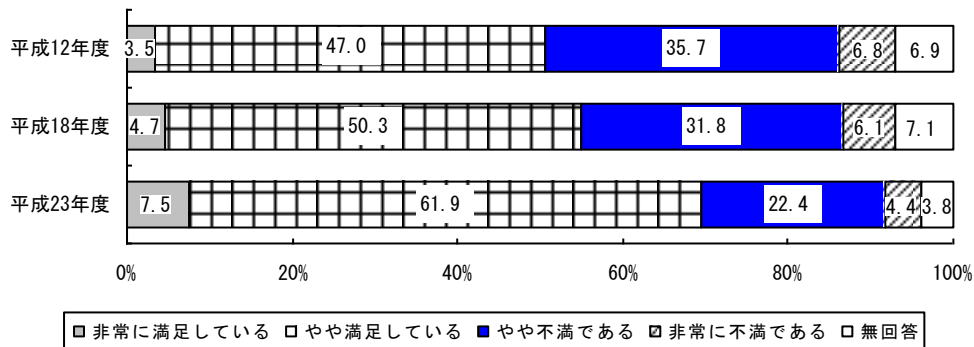
問 32. 広島市での生活全般について、現在どの程度満足されていますか。(○は1つ)

【図 2-10-1 広島市での生活全般についての満足度】



広島市での生活全般についての満足度について、『満足』（「非常に満足している」と「やや満足している」を合わせた割合）との回答が69.4%、『不満』（「非常に不満である」と「やや不満である」を合わせた割合）との回答が26.8%となっている。

【図 2-10-2 広島市での生活全般についての満足度（経年比較）】

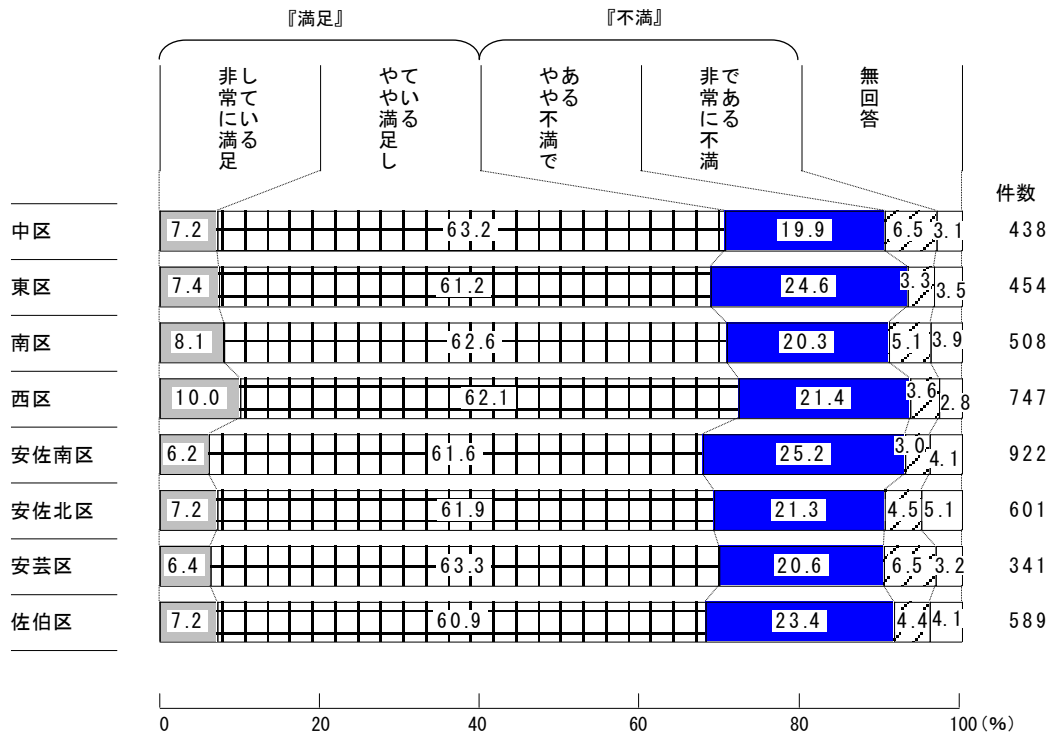


広島市での生活全般についての満足度について、経年比較すると、『満足』との回答が平成23年度で約7割となっているのに対し、平成12年度、平成18年度では5割台となっている。

【表 2-10-1 目標値の達成状況】

指標	平成12年度	平成18年度	平成23年度
生活に満足している人	50.5%	55.0%	69.4%

【図 2-10-3 広島市での生活全般についての満足度（地区別）】

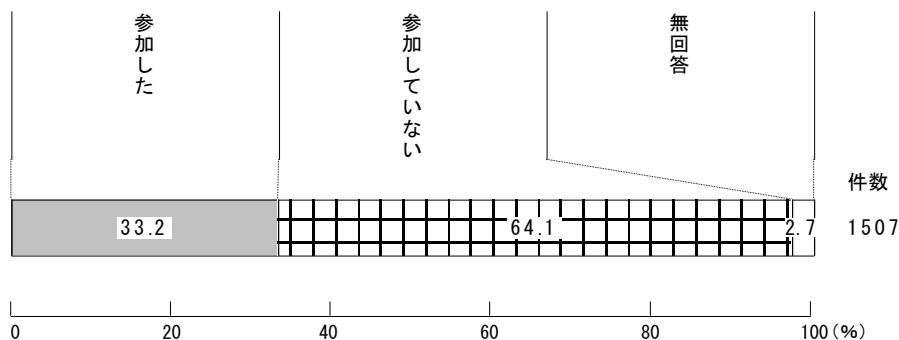


広島市での生活全般についての満足度について、地区別にみると、すべての地区で『満足』との回答が6割を超え、大きな差は見られない。

(60歳以上の方におうかがいします。)

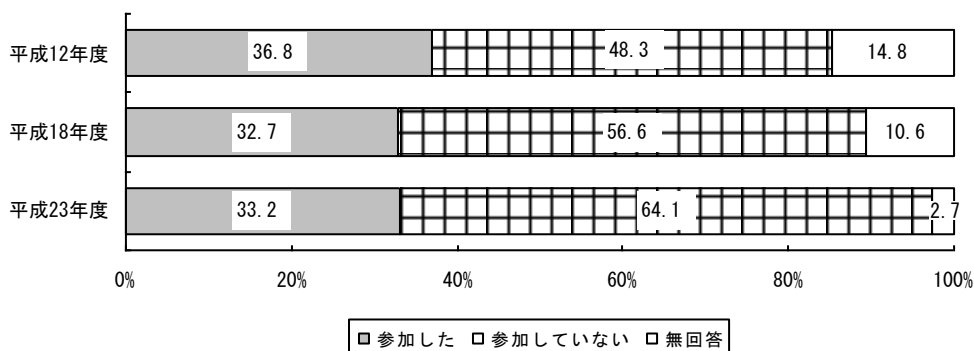
問 33. この1年間に、自主的に行われている活動に参加されましたか。(○は1つ)

【図 2-10-4 自主的に行われている活動への参加の有無】



自主的に行われている活動への参加の有無について、「参加した」との回答が 33.2%、「参加していない」との回答は 64.1%となっている。

【図 2-10-5 自主的に行われている活動への参加の有無 (経年比較)】



自主的に行われている活動への参加の有無について、経年比較すると、「参加していない」との回答は平成 23 年度で6割を超え、他の調査に比べ高くなっている。

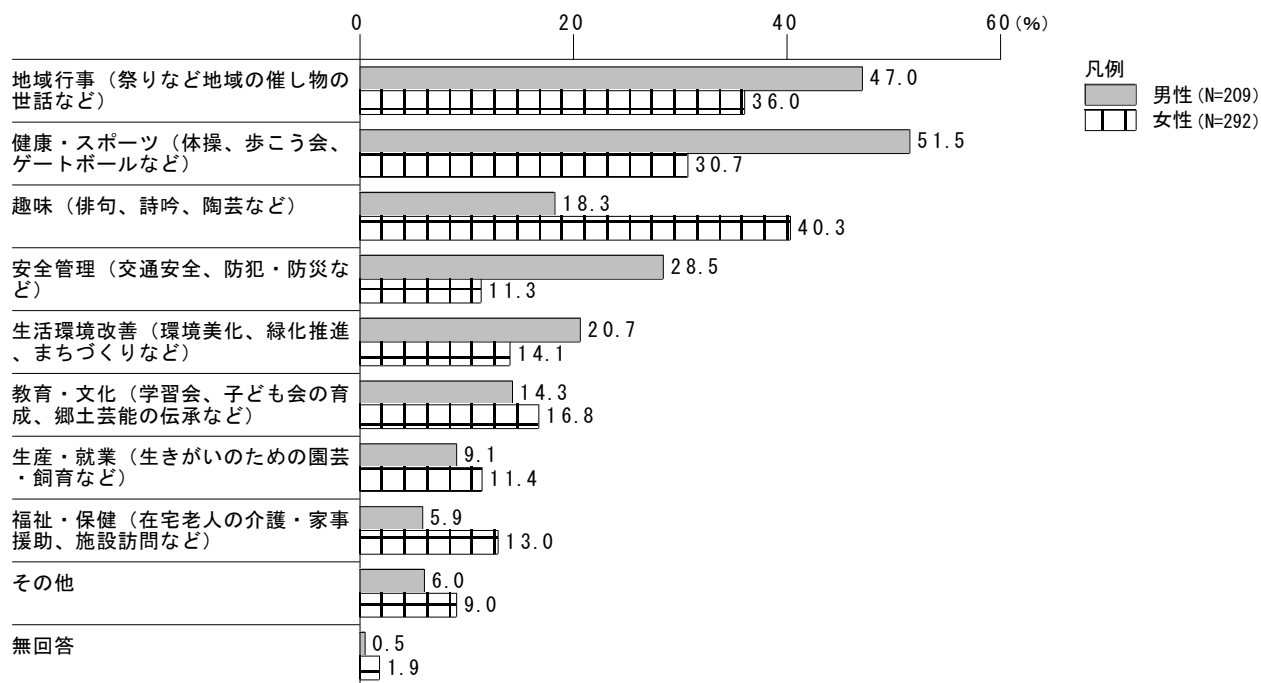
【表 2-10-2 目標値の達成状況】

指標	平成 12 年度	平成 18 年度	平成 23 年度
60 歳以上で地域活動に参加する人	36.8%	32.7%	33.2%

(問 33 で「1 参加した」と回答した方におうかがいします。)

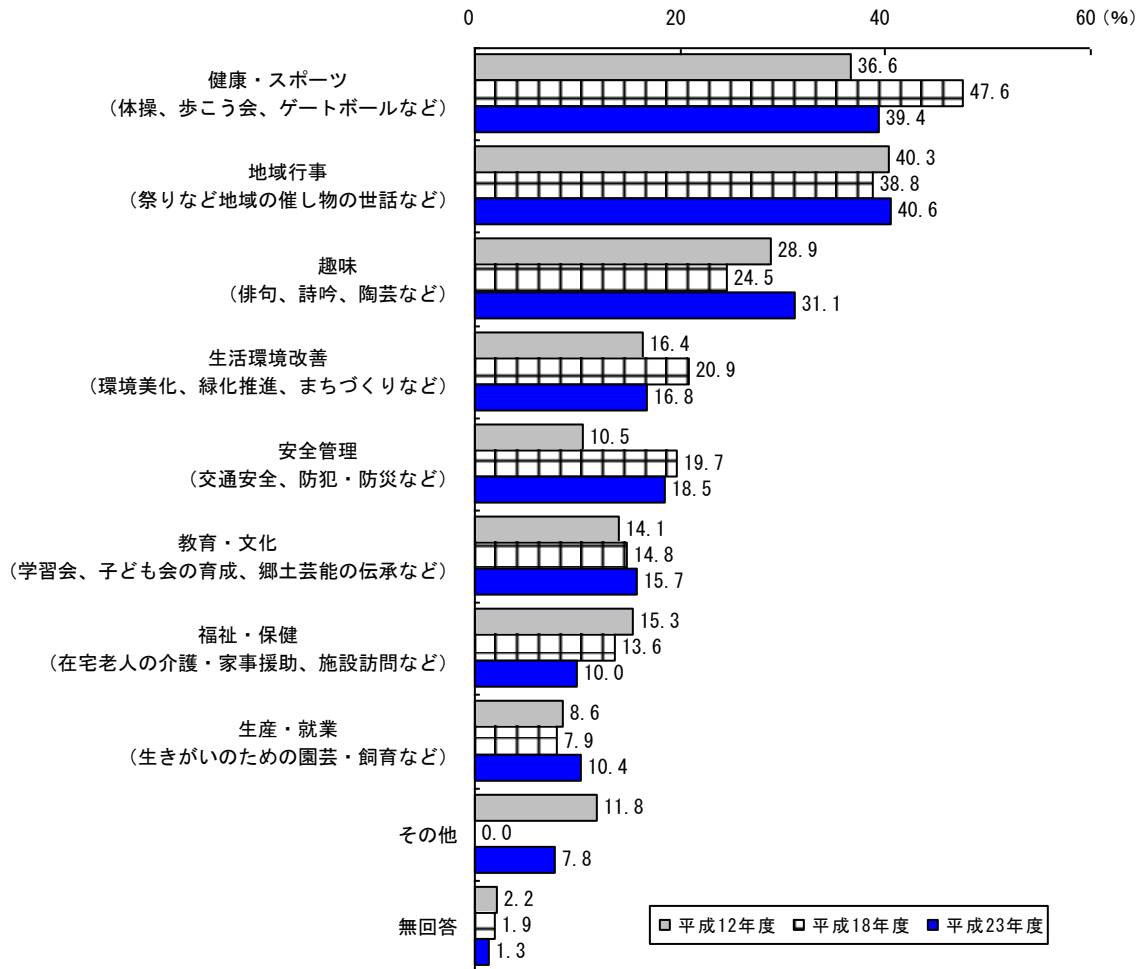
問 33-1. どのような活動に参加されましたか (〇はいくつでも)

【図 2-10-6 参加した活動 (性別)】



参加した活動について、性別にみると、「趣味 (俳句、詩吟、陶芸など)」との回答では女性 (40.3%) が男性 (18.3%) を 22.0 ポイント上回り、反対に「健康・スポーツ (体操、歩こう会、ゲートボールなど)」との回答では男性 (51.5%) が女性 (30.7%) を 20.8 ポイント上回っている。

【図 2-10-7 参加した活動（経年比較）】

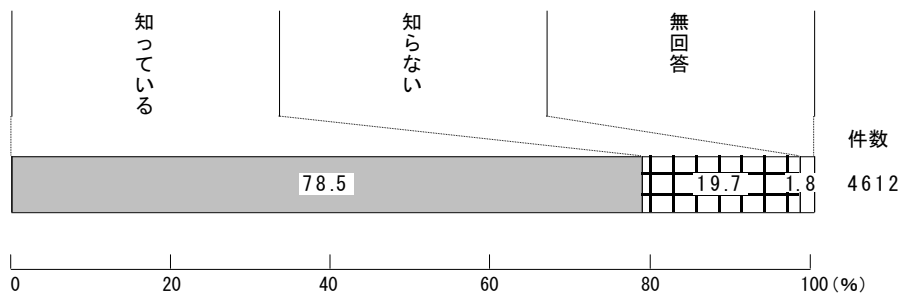


参加した活動について、経年比較すると、「安全管理（交通安全、防犯・防災など）」との回答は平成18年度、平成23年度で高くなっている。

問 34. 「メタボリックシンドローム」とは、具体的にどのようなものであるか知っていましたか。

(○は1つ)

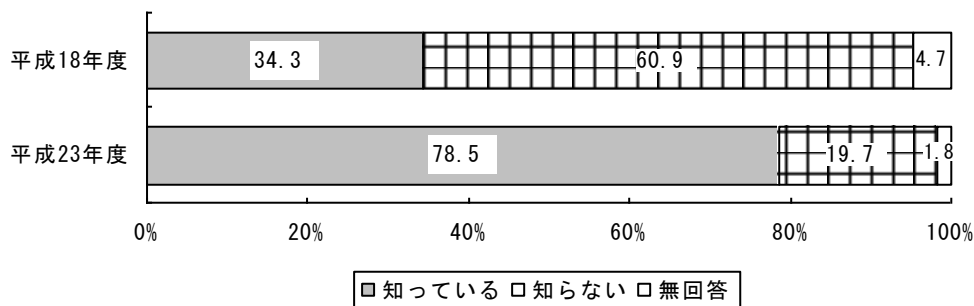
【図 2-10-8 メタボリックシンドロームの認知度】



\*メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に、高血糖、高血圧、脂質異常を複数あわせ持ち、心臓病などになる危険性の高い状態をいいます。

メタボリックシンドロームの認知度について、「知っている」との回答が 78.5%、「知らない」との回答は 19.7%と認知度は高くなっている。

【図 2-10-9 メタボリックシンドロームの認知度（経年比較）】



メタボリックシンドロームの認知度について、経年比較すると、「知っている」との回答が平成 23 年度で 78.5%と約 8 割あるのに対し、平成 18 年度では 34.3%と 3 割台となっている。